

令和 7 ～ 1 0 年度使用中学校用教科書

石川県教科用図書選定資料

石 川 県 教 育 委 員 会

教科用図書選定資料について

この選定資料は、文部科学省の「中学校用教科書目録（令和 7 年度使用）」に記載された教科用図書について、生徒の発達の段階を考慮するとともに、どのような工夫や配慮等が見られるか、「令和 7 年度使用教科書（中学校用教科書及び学校教育法附則第 9 条の規定による教科書）の採択方針」に基づき、次の①～⑦の観点で調査研究を行い、特徴・特記すべき事項を、一覧表にしたものである。

- ①知識や技能の習得の工夫
- ②思考力・判断力・表現力等を育む工夫
- ③自主的、自発的な学習を促す工夫
- ④伝統と文化を尊重する態度、道徳性などを養う工夫
- ⑤現代的な諸課題への対応や各教科等との関連
- ⑥系統的・発展的な内容等の構成・配列
- ⑦生徒の発達の段階に適した本文の内容、挿絵等の扱い、印刷・製本

なお、選定資料に記載している発行者の順序は、文部科学省の「中学校用教科書目録（令和 7 年度使用）」に登録されている番号順とし、発行者名は次の略称で表している。

番号	略称	発 行 者 名
2	東 書	東京書籍株式会社
4	大日本	大日本図書株式会社
6	教 図	教育図書株式会社
9	開隆堂	開隆堂出版株式会社
1 1	学 図	学校図書株式会社
1 5	三省堂	株式会社三省堂
1 7	教 出	教育出版株式会社
2 7	教 芸	株式会社教育芸術社
3 8	光 村	光村図書出版株式会社
4 6	帝 国	株式会社帝国書院
5 0	大修館	株式会社大修館書店
6 1	啓林館	株式会社新興出版社啓林館
8 1	山 川	株式会社山川出版社
1 0 4	数 研	数研出版株式会社
1 1 6	日 文	日本文教出版株式会社
2 2 4	学 研	株式会社 Gakken
2 2 5	自由社	株式会社自由社
2 2 7	育鵬社	株式会社育鵬社
2 2 9	学び舎	株式会社学び舎
2 3 2	あか図	あかつき教育図書株式会社
2 3 3	日 科	日本教科書株式会社
2 3 6	令 書	令和書籍株式会社

令和7年度使用教科書（中学校用教科書及び学校教育法附則第9条の規定による教科書）の採択方針

石川県教育委員会

令和7年度使用教科書（中学校用教科書及び学校教育法附則第9条の規定による教科書（以下「一般図書」という。））の採択に当たっては、教育基本法や学校教育法が示す教育の目的や目標、学習指導要領の趣旨を踏まえ、児童生徒の心身の発達の段階や特性等を十分考慮するとともに、次のことに配慮すること。

1 中学校用教科書の採択について

- (1) 知識及び技能が習得されるようにするための工夫がなされていること。
- (2) 思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫がなされていること。
- (3) 学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫がなされていること。

[採択の留意点]

- ① 基礎的・基本的な知識や技能の習得のため、学習内容を確実に身に付けることができるような記述の充実が図られていること。
- ② 思考力・判断力・表現力等を育むため、知識や技能を活用して課題を解決する過程を重視した学習の記述の充実が図られていること。
- ③ 生徒の興味・関心を生かした自主的、自発的な学習が促されるよう配慮されていること。
- ④ 伝統と文化を尊重する態度、道徳性などを養うための内容や話題・題材の充実が図られていること。
- ⑤ 現代的な諸課題への対応や各教科等との関連に配慮が見られること。
- ⑥ 教材や内容は、学年相互間の関連が図られ、系統的・発展的に構成・配列されていること。
- ⑦ 本文の内容、挿絵、写真及び図等の扱いが、生徒の発達の段階に適しており、文字の書体や大きさ、図版等の印刷が適切であること。

[選定資料等の活用]

令和7年度使用中学校用教科書の採択に当たっては、石川県教育委員会が作成する、「令和7～10年度使用中学校用教科書石川県教科用図書選定資料」、及び、文部科学省において取りまとめた「教科書編修趣意書」等を活用すること。

2 一般図書の採択の留意点について

- ① 児童生徒の障害の種類・程度、能力・特性に最もふさわしい内容のものであること。
- ② 教科の目標に沿う内容をもつものであり、上学年で使用する事となる教科書との関連性や系統性を考慮すること。

[選定資料の活用]

一般図書の採択に当たっては、今年度、石川県教育委員会が作成する「一般図書選定資料」を活用すること。

目 次

(種 目)	(ページ)
国 語	1
書 写	7
社 会 (地理的分野)	1 3
社 会 (歴史的分野)	1 9
社 会 (公民的分野)	2 9
地 図	3 7
数 学	4 1
理 科	4 9
音 楽 (一般)	5 5
音 楽 (器楽合奏)	5 9
美 術	6 3
保健体育	6 7
技術・家庭 (技術分野)	7 3
技術・家庭 (家庭分野)	7 7
英 語	8 1

国語

〔 国語 〕

東 書 新編 新しい国語 1、2、3

三省堂 現代の国語 1、2、3

教 出 伝え合う言葉 中学国語 1、2、3

光 村 国語 1、2、3

教科	国語	種目	国語	発行者	東書
----	----	----	----	-----	----

観 点	特 徴 ・ 特 記 す べ き 事 項
① 知識や技能の 習得の工夫	・「広がる言葉」では、教材中の表現と関連する言葉を学ぶことを通して、語感を磨き、語彙を豊かにすることができるように配慮されている。 ・「思考のヒント」では、情報の整理・分析についての教材と巻末資料にある一覧とのつながりが明示されており、情報の扱い方に関する内容が定着するように配慮されている。
② 思考力・判断 力・表現力等 を育む工夫	・「言葉の力」では、学習のポイントが図解とともに具体的に示されており、考えを深めることができるように配慮されている。 ・「見通す」では、学習目標とそれに対応した問いかけが具体的に示されており、思考を促すことができるように配慮されている。
③ 自主的、自発 的な学習を促 す工夫	・「てびき」では、読解から考えの形成への流れが段階的に示されており、見通しをもって主体的に学習に取り組むことができるように配慮されている。 ・「振り返る」では、学習目標に対応した振り返りの観点が示されており、教材を通して学習した学びを自覚できるように配慮されている。
④ 伝統と文化を 尊重する態度、 道徳性などを 養う工夫	・2、3年の「資料編」では、古典教材と併せて読むことができる解説文が掲載されており、古典への興味・関心を高め、我が国の伝統文化を学ぶ楽しさを味わうことができるように配慮されている。
⑤ 現代的な諸課 題への対応や 各教科等との 関連	・「未来への扉」では、現代的諸課題である9つのテーマが示され、各教材との関連が図られており、社会の課題に向き合い、考えを深めることができるように配慮されている。 ・「他教科で学ぶ漢字」では、他教科の学習内容と関連のある漢字が取り上げられており、国語科で学習したことを他教科の学習に生かすことができるように配慮されている。
⑥ 系統的・発展 的な内容等の 構成・配列	・巻末の「言葉の力」一覧では、各学年で身に付ける力が「各領域の言葉の力」、「学びを支える言葉の力」に分類して示されており、領域ごとの学びのつながりを確認しながら系統立てて学習を進めることができるように配慮されている。
⑦ 生徒の発達の 段階に適した 本文の内容、 挿絵等の扱い、 印刷・製本	・各教材のデジタルコンテンツにつながる二次元コードとともに、簡単な内容が掲載されており、それが巻末の「デジタルコンテンツ一覧」にもまとめて記載されている。

教科	国語	種目	国語	発行者	三省堂
----	----	----	----	-----	-----

観 点	特 徴 ・ 特 記 す べ き 事 項
① 知識や技能の 習得の工夫	・「語彙を豊かに」では、教材中の表現と関連する語句が紹介されており、語彙を豊かにすることができるよう配慮されている。 ・「思考の方法」では、9種類の思考の方法が図解とともに示されており、情報を可視化し、考えを深めるための学び方を習得できるように配慮されている。
② 思考力・判断 力・表現力等 を育む工夫	・「読み方を学ぼう」では、文章の構造的な読み方が図解で示されており、自分の考えを形成する手立てとなるように配慮されている。 ・「グループディスカッション」では、各学年に応じた「話し合いのこつ」が掲載されており、話し合いを効果的に進める中で、考えを広げたり、深めたりすることができるように配慮されている。
③ 自主的、自発 的な学習を促 す工夫	・「学びを振り返る」では、「振り返りのキーワード」が示されており、キーワードを用いて学んだことを自分で整理し、まとめることができるように配慮されている。 ・各教材の「目標」では、重点をおく項目が「◎」で強調されており、課題意識をもって主体的に学習に取り組むことができるように配慮されている。
④ 伝統と文化を 尊重する態度、 道徳性などを 養う工夫	・資料編「読書の広場」では、落語、歌舞伎、能・狂言について写真や脚注が付された演目の台本が掲載されており、我が国の豊かな言語文化に触れることで、古典への興味・関心が高まるように配慮されている。
⑤ 現代的な諸課 題への対応や 各教科等との 関連	・「生かそう」では、学んだことを他教科等や日常生活のどのような場面で生かすことができるのかが示されており、国語科の学習で習得した力を活用することができるように配慮されている。 ・防災やメディアリテラシー等、現代的な諸課題をテーマとした教材が掲載されており、現代社会の課題について考えを深めることができるように配慮されている。
⑥ 系統的・発展 的な内容等の 構成・配列	・「学習用語辞典」では、各領域で3年間を通して学習活動に役立つ用語を一覧にし、該当学年と関連の深い教材名が示されており、系統的に学習できるように配慮されている。
⑦ 生徒の発達の 段階に適した 本文の内容、 挿絵等の扱い、 印刷・製本	・「二次元コード参照先コンテンツ一覧」では、教材名とコンテンツの内容が一覧で示されている。

教科	国語	種目	国語	発行者	教出
----	----	----	----	-----	----

観 点	特 徴 ・ 特 記 す べ き 事 項
① 知識や技能の 習得の工夫	・「言葉・情報」では、教材と関連した言葉や表現の型等が示され、「理解に役立つ言葉」、「表現に役立つ言葉」では、言語活動の中で活用することのできる表現が示されており、語彙や表現の拡充が図られている。 ・「情報・メディアと表現」では、情報モラルやメディアリテラシーについて知り、日常的に接するメディアに関する教材を通して、情報の扱い方に関する内容が定着するように配慮されている。
② 思考力・判断 力・表現力等 を育む工夫	・「学びナビ」では、教材の読み方や学習活動のポイントが図解とともに教材文の前に提示されており、教材を読み深めていくことができるように配慮されている。 ・「学びのチャレンジ」では、様々な文章や資料を読みながら思考する問題が掲載されており、資料と文章を関連付けて自分の考えを書くことができるように配慮されている。
③ 自主的、自発 的な学習を促 す工夫	・「みちしるべ」では、学習活動の流れが示されており、「参考」に書かれている内容を基に自分の力で読みを深めて学習を進めることができるように配慮されている。 ・「振り返り」では、単元の目標に即した振り返りの項目が詳しく示されており、学んだことを自覚できるように配慮されている。
④ 伝統と文化を 尊重する態度、 道徳性などを 養う工夫	・1、2年の「伝統芸能へのいざない」では、落語や歌舞伎等で、声に出して味わえる場面が設定されており、我が国の伝統文化に親しむことができるように配慮されている。
⑤ 現代的な諸課 題への対応や 各教科等との 関連	・「持続可能な未来を創るために」では、様々な課題や出来事に関する3つの問いが示されており、自分ができる取組について考えを深めることができるように配慮されている。 ・話すこと・聞くこと、書くことの教材末に設けられている「学びを生かす」では、他教科等の学習での活用場面が示されており、学んだことを活用できるように配慮されている。
⑥ 系統的・発展 的な内容等の 構成・配列	・「学習に必要な用語（索引）」では、3年間の学習で必要な用語が一覧で示されており、関連する学年やページを確認できるように配慮されている。
⑦ 生徒の発達の 段階に適した 本文の内容、 挿絵等の扱い、 印刷・製本	・「まなびリンク」では、「言葉の地図」に設けられた二次元コードから各学習内容のデジタルコンテンツが閲覧でき、見通しをもって活用できるように配慮されている。

教科	国語	種目	国語	発行者	光村
----	----	----	----	-----	----

観 点	特 徴 ・ 特 記 す べ き 事 項
① 知識や技能の 習得の工夫	・「言の葉ポケット」では、場面に応じた話型や文型、言葉に着目して思考を促す設問が示され、「語彙ブック」では、描写や思考に関する語彙が具体的な用例やイラストとともにまとめられており、語彙を増し、表現を豊かにすることができるように配慮されている。 ・「情報整理のレッスン」、「思考のレッスン」では、情報の整理の仕方等が具体例で示されており、情報の扱い方に関する知識や技能を習得することができるように配慮されている。
② 思考力・判断 力・表現力等 を育む工夫	・「学びのカギ」では、思考のポイントが説明とともに図解で示されたり、学習で用いる言葉の解説が掲載されており、考えを深めることができるように配慮されている。 ・キャラクターの吹き出しでは、考える手掛かりや視点が示されることで、思考を促すことができるように配慮されている。
③ 自主的、自発 的な学習を促 す工夫	・「学びへの扉」の「振り返る」では、振り返りの内容が観点ごとに示されており、学びを自覚できるように配慮されている。 ・学習目標に観点が明示されており、単元の見通しをもち、課題意識をもって学習に取り組むことができるように配慮されている。
④ 伝統と文化を 尊重する態度、 道徳性などを 養う工夫	・「資料編 伝統芸能・古典芸能」では、古典落語、能・狂言、歌舞伎・浄瑠璃についてそれぞれの歴史が代表的な噺・演目のあらすじと併せて取り上げられており、我が国の伝統文化に親しむことができるように配慮されている。
⑤ 現代的な諸課 題への対応や 各教科等との 関連	・「学習の見通しをもとう」では、学習内容に関連する他教科等やSDG sの項目が示されており、教科等横断的な学びにつながるように配慮されている。 ・「情報×SDG s」では、実生活や将来に生きる情報活用の方法を学ぶことで、現代社会の諸課題を自分ごとと捉えて解決するための力を育むことができるように配慮されている。
⑥ 系統的・発展 的な内容等の 構成・配列	・「学びのカギ一覧」では、当該学年で学習した内容について、文学的な文章や説明的な文章を読む観点が一覧で示されており、今後の学習に生かすことができるように配慮されている。
⑦ 生徒の発達の 段階に適した 本文の内容、 挿絵等の扱い、 印刷・製本	・「ICT活用のヒント」では、二次元コード一覧とICT機器を活用する学習場面が一覧で示されている。

国語 〔書写〕

東 書 新編 新しい書写 一・二・三年

三省堂 現代の書写 一・二・三

教 出 中学書写

光 村 中学書写 一・二・三年

教科	国語	種目	書写	発行者	東書
----	----	----	----	-----	----

観 点	特 徴 ・ 特 記 す べ き 事 項
① 知識や技能の 習得の工夫	・各単元では、学習のポイントが「書写のかぎ」としてまとめられ、習得すべき知識や技能を捉えることができるように配慮されている。 ・1、2年の各単元における「生かそう」では、「書写のかぎ」を生かして書く活動が示され、知識や技能の定着につながるように配慮されている。 ・1、2年の「行書のまとめ」では、学習したことを硬筆に生かすことで、読みやすく速く書くための知識や技能を身に付けることができるように配慮されている。
② 思考力・判断 力・表現力等 を育む工夫	・各単元の「見つけよう」では、思考を促す問いが設けられ、学習のポイントに気付くことができるように配慮されている。 ・「読みやすく速く書くための動き」では、楷書と行書の違いが示され、何を意識すると読みやすく速く書けるかに気付くことができるように配慮されている。
③ 自主的、自発 的な学習を促 す工夫	・1、2年の各単元では、「見つけよう」、「確かめよう」、「生かそう」、「振り返ろう」の学習の過程が示され、見通しをもって主体的に学習に取り組むことができるように配慮されている。 ・1、2年の各単元における「振り返ろう」では、示された目標に基づいて自分が書いた文字を振り返る活動が示され、実感を伴った振り返りができるように配慮されている。
④ 伝統と文化を 尊重する態度、 道徳性などを 養う工夫	・「文字といっしょに」では、文字の移り変わり、伝統的な用具・用材、筆記具の使い分けが紹介され、文字文化に触れ、伝統文化を尊重することができるように配慮されている。
⑤ 現代的な諸課 題への対応や 各教科等との 関連	・「生活に広げよう」では、他教科等との関連を示すマークが付され、書写の学習を他教科等の学習や日常生活に生かすことができるように配慮されている。
⑥ 系統的・発展 的な内容等の 構成・配列	・「はじめに」では、小学校で学んだことが示され、既習の内容を確認しながら中学校の書写の学習に取り組むことができるように配慮されている。 ・「書の古典—今に生きる書」では、書体や書風、書道を学ぶ高校生の活動が紹介され、高等学校芸術科（書道）への接続が図られている。
⑦ 生徒の発達の 段階に適した 本文の内容、 挿絵等の扱い、 印刷・製本	・左利きの生徒の学習のしやすさを考慮し、書き込み欄の配置が工夫され、利き手によらず教材を見ることができるように配慮されている。

教科	国語	種目	書写	発行者	三省堂
----	----	----	----	-----	-----

観 点	特 徴 ・ 特 記 す べ き 事 項
① 知識や技能の 習得の工夫	・ 1、2年の各単元における「書き方を学ぼう」では、具体的な字形例とともに書き方のポイントが示され、習得すべき知識や技能を捉えることができるように配慮されている。 ・ 「書いて身につけよう」では、硬筆による書き込み欄が設けられ、毛筆で学習したことが定着するように配慮されている。 ・ 巻末の「書き方を学ぼう一覧」では、3年間の学習内容がまとめられ、知識や技能を整理して捉えることができるように配慮されている。
② 思考力・判断 力・表現力等 を育む工夫	・ 1、2年の各単元における「書き方を学ぼう」では、思考を促す問いが設けられ、これからの学習について課題を意識することができるように配慮されている。 ・ 「楷書と行書の使い分け」では、書体を選択する場面が設けられ、読み手や目的、状況を意識して、書体を使い分けることができるように配慮されている。
③ 自主的、自発 的な学習を促 す工夫	・ 「書いて身につけよう」における「振り返ろう」では、学んだことが活用できているかを書いて確認するとともに、学んだことを自分の言葉でまとめる欄が設けられ、自分の学びを自覚することができるように配慮されている。 ・ 「資料編」における「毛筆補充教材」では、楷書と行書の二通りの手本が掲載され、生徒がいずれかを選択して学習することができるように配慮されている。
④ 伝統と文化を 尊重する態度、 道徳性などを 養う工夫	・ 「文字の変遷」や「文房四宝」では、文字の歴史やそれとともに発達してきた毛筆の道具が取り上げられ、文字文化に触れ、伝統文化を尊重することができるように配慮されている。
⑤ 現代的な諸課 題への対応や 各教科等との 関連	・ 各学年の「やってみよう」では、国語科の教材との関連が図られ、書体や文字の大きさ、筆記具の選択など書写で学習したことを生かすことができるように配慮されている。
⑥ 系統的・発展 的な内容等の 構成・配列	・ 「篆刻について知ろう」や「書の古典」では、高等学校の学習内容が取り上げられ、高等学校芸術科（書道）への興味・関心が広がるように配慮されている。
⑦ 生徒の発達の 段階に適した 本文の内容、 挿絵等の扱い、 印刷・製本	・ 各学年や資料編ごとにページが色分けされ、必要なページを検索しやすいように工夫されている。 ・ 巻末の「二次元コード一覧表」では、二次元コードの掲載ページや内容がひと目で分かるように示されている。

教科	国語	種目	書写	発行者	教出
----	----	----	----	-----	----

観 点	特 徴 ・ 特 記 す べ き 事 項
① 知識や技能の 習得の工夫	- 各単元では、朱墨と薄墨を使った手本が掲載され、筆順と筆脈を表す矢印を示すことで、筆脈や筆圧などを視覚的に捉えることができるように配慮されている。 「学習を生かして書く」では、学習したことを生かして書く課題が設けられ、知識や技能を身に付けることができるように配慮されている。
② 思考力・判断 力・表現力等 を育む工夫	- 各単元では、「目標」の次に「試し書き」の欄が設けられ、自身の書いた文字から課題を見いだすことができるように配慮されている。 - 各単元の「考えよう」では、気付きを促す問いが設けられ、書き方のポイントに気付くことができるように配慮されている。 - 各単元の「まとめ書きと応用」では、教材で学習したことを生かして書く欄が設けられ、知識や技能を活用することができるように配慮されている。
③ 自主的、自発 的な学習を促 す工夫	「学習の進め方」では、学習の手順に加え、「話し合い活動をとoshした学び方」が学習用語とともに示され、学習の見通しをもつことができるように配慮されている。 「三年間の学習の成果を生かそう」や「補充教材集」では、選択できる課題や複数の毛筆教材が示され、生徒一人一人が興味・関心や習熟の程度に応じて教材を選択し、主体的に学習を深めることができるように配慮されている。
④ 伝統と文化を 尊重する態度、 道徳性などを 養う工夫	「コラム」では、歴史上の人物が書いた文字、活字の変遷等が取り上げられ、文字文化に対する興味・関心をもつことができるように配慮されている。
⑤ 現代的な諸課 題への対応や 各教科等との 関連	「学校生活に生かして書く」や「さまざまな書く場面」では、他教科等や日常生活における書く場面が取り上げられ、書写で身に付けたことを生かすことができるように配慮されている。
⑥ 系統的・発展 的な内容等の 構成・配列	- 小学校で学習した漢字と中学校で学習する漢字が分けて掲載され、小学校における学習を確認しながら行書の学習に取り組むことができるように配慮されている。 「発展」マークが付されたページでは、高等学校芸術科（書道）につながる教材が設けられ、高等学校の学習内容との関連が図られている。
⑦ 生徒の発達の 段階に適した 本文の内容、 挿絵等の扱い、 印刷・製本	「『まなびリンク』を活用しよう」では、二次元コードの活用の仕方が示され、自身の課題に応じて各ページの二次元コードを活用することができるように配慮されている。

教科	国語	種目	書写	発行者	光村
----	----	----	----	-----	----

観 点	特 徴 ・ 特 記 す べ き 事 項
① 知識や技能の 習得の工夫	・「書写ブック」では、毛筆の教材で学習したことを生かすことができる硬筆の課題が設けられ、基礎的・基本的な知識や技能が身に付くように配慮されている。 ・「学びのカギ」では、学習のポイントがまとめて示され、習得すべき知識や技能がひと目で分かるように配慮されている。
② 思考力・判断 力・表現力等 を育む工夫	・各単元の「考えよう」では、教材についての課題が設けられ、書き方のポイントに気付くことができるように配慮されている。 ・「楷書と行書の使い分け」や「文字の使い分け」では、書体を選択する場面が設けられ、場面や目的に応じた書体の使い分けについて考えることができるように配慮されている。
③ 自主的、自発 的な学習を促 す工夫	・各単元では、「考えよう」、「確かめよう」、「生かそう」の学習の過程が示され、見通しをもって学習することができるように配慮されている。 ・「三年間の目標」や「三年間のまとめ」では、3年間の学習の目標やまとめが示され、見通しをもったり、自己の変容を振り返ったりすることができるように配慮されている。
④ 伝統と文化を 尊重する態度、 道徳性などを 養う工夫	・「季節のしおり」では、日本の四季を表現した詩や古典文学、俳句、短歌のなぞり書きをする課題が設けられ、伝統文化への興味・関心をもつことができるように配慮されている。 ・「全国文字マップ」では、全国の主要な看板や石碑の文字が掲載され、身の回りの多様な文字文化への理解を深めることができるように配慮されている。
⑤ 現代的な諸課 題への対応や 各教科等との 関連	・「SDGs×書写」では、持続可能な開発目標を達成するために、実践できる取組や学習内容が示され、現代的な諸課題についての意識を高めることができるように配慮されている。
⑥ 系統的・発展 的な内容等の 構成・配列	・小学校の学習内容を確認するための「中学書写スタートブック」、高等学校芸術科（書道）に関連する内容の「発展」が設けられ、他校種の学習との関連を意識することができるように配慮されている。
⑦ 生徒の発達の 段階に適した 本文の内容、 挿絵等の扱い、 印刷・製本	・毛筆の教材では、学習の過程やポイントとは別のページに手本だけが示され、生徒が集中して文字を書くことができるように配慮されている。 ・学習内容と関連した二次元コードとコンテンツの種類が示され、個に応じて学習を深めることができるように配慮されている。

社 会

〔社会(地理的分野)〕

東 書	新編 新しい社会 地理
教 出	中学社会 地理 地域にまなぶ
帝 国	社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土
日 文	中学社会 地理的分野

教科	社会	種目	社会（地理的分野）	発行者	東 書
----	----	----	-----------	-----	-----

観 点	特 徴 ・ 特 記 す べ き 事 項
① 知識や技能の 習得の工夫	・「スキル・アップ」では、資料の読み取り方や思考ツールを活用したまとめ方が提示され、資料活用の技能が身に付くように配慮されている。 ・鉛筆のマークが付された資料では、既習の知識や技能を活用して表現する活動が設けられ、身に付けた技能を活用することができるように配慮されている。
② 思考力・判断 力・表現力等 を育む工夫	・「地理を学ぶ5つのミカタ」では、庄内平野を例に、地理的な見方・考え方を働かせた資料の読み取り方が示され、多面的・多角的に考察する力が身に付くように配慮されている。 ・「みんなでチャレンジ」では、課題解決に向けた対話的な活動が設けられ、思考力・判断力・表現力等が育まれるように配慮されている。
③ 自主的、自発 的な学習を促 す工夫	・「聞かせて！中学生」では、世界の各州の生活の様子や日本の各地方の特色が、現地の中学生の言葉で紹介され、学習内容への興味・関心が高まるように配慮されている。 ・「もっと知りたい！」では、学習内容に関する新たな視点が示され、自主的に学習を深めることができるように配慮されている。 ・「まとめの活動」では、考察するヒントや思考ツールが提示され、探究課題を解決できるように配慮されている。
④ 伝統と文化を 尊重する態度、 道徳性などを 養う工夫	・伝統や文化に関するテーマのコラムであることが分かりやすくなるように、「伝統文化」マークが付され、我が国の伝統や文化についての関心が高まるように配慮されている。 ・世界の諸地域の各節にある「〇〇州の生活・文化」では、世界各地の生活や文化に関する内容が紹介され、世界各地の伝統や文化への関心が高まるように配慮されている。
⑤ 現代的な諸課 題への対応や 各教科等との 関連	・「地球的課題をふり返ろう」では、節を通して学ぶ地球的課題について、資料を基に説明する活動が設けられ、現代的な諸課題への意識が高まるように配慮されている。 ・「未来にアクセス」では、環境や防災、共生をテーマとしたコラムが掲載され、持続可能な社会の実現に向けて理解が深まるように配慮されている。
⑥ 系統的・発展 的な内容等の 構成・配列	・各編の冒頭で「小学校の社会で習ったことば」が掲載され、中学校の学習との系統性を意識できるように配慮されている。
⑦ 生徒の発達の 段階に適した 本文の内容、 挿絵等の扱い、 印刷・製本	・「世界の窓」では、「自然環境」、「都市と人口」、「産業」、「交通と通信」、「生活と文化」の視点で写真資料が掲載され、各州の特色を捉えやすいように工夫されている。

教科	社会	種目	社会（地理的分野）	発行者	教出
----	----	----	-----------	-----	----

観 点	特 徴 ・ 特 記 す べ き 事 項
① 知識や技能の 習得の工夫	・「地理の技」では、グラフや地図を読み取ったり、略地図を描いたりする活動が設けられ、基礎的・基本的な技能が身に付くように配慮されている。 ・「LOOK!」では、資料の補足説明によって読み取りの視点が提示され、資料活用の技能が身に付くように配慮されている。
② 思考力・判断 力・表現力等 を育む工夫	・「THINK!」では、学習内容に関連した資料を読み取り、まとめる活動が設けられ、地理的な見方・考え方を働かせて考察し、表現する力が身に付くように配慮されている。 ・「学習のまとめと表現」では、学習内容を表や思考ツール等で整理しながらまとめる活動が設けられ、思考力・判断力・表現力等が育まれるように配慮されている。 ・「TRY!」では、学習内容に関する発展的な問いが設けられ、思考力・判断力・表現力等が育まれるように配慮されている。
③ 自主的、自発 的な学習を促 す工夫	・「地理の窓」では、学習内容に関する新たな視点が示され、地理的事象への興味・関心を喚起し、自主的な学習を促すように配慮されている。 ・章の導入ページでは、章の学習内容と章を見通した学習課題が提示され、見通しをもち、自主的に学習に取り組むことができるように配慮されている。
④ 伝統と文化を 尊重する態度、 道徳性などを 養う工夫	・折り込み資料の「日本にはどんな世界遺産があるのだろう」では、日本国内の世界遺産が掲載され、我が国の伝統と文化への関心が高まるように配慮されている。
⑤ 現代的な諸課 題への対応や 各教科等との 関連	・世界の諸地域の各地域の導入では、SDGsに関連する地球的課題が示され、課題解決に向けた意識が高まるように配慮されている。 ・「クロスロード」では、持続可能な社会に向けた取組が紹介され、現代的な諸課題への関心が高まるように配慮されている。
⑥ 系統的・発展 的な内容等の 構成・配列	・「地理にアプローチ」では、小学校で学んだ地図のきまりや地図帳の使い方が示され、小学校の学びを想起して地理学習に取り組むことができるように配慮されている。 ・脚注部の「関連」では、小学校や他分野、他教科等との関連が示され、学びのつながりが意識できるように配慮されている。
⑦ 生徒の発達の 段階に適した 本文の内容、 挿絵等の扱い、 印刷・製本	・第2編「世界のさまざまな地域」では、地球儀のイラストが掲載され、学習する国名や位置を捉えやすいように工夫されている。

教科	社会	種目	社会（地理的分野）	発行者	帝国
----	----	----	-----------	-----	----

観 点	特 徴 ・ 特 記 す べ き 事 項
① 知識や技能の 習得の工夫	・「技能をみがく」では、地図や統計資料の読み取り方、地形図の使い方などが示され、地理の学習に必要な基礎的・基本的な技能が身に付くように配慮されている。 ・「確認しよう」では、教科書に掲載された図を基に、既習事項を確認する活動が設けられ、基礎的・基本的な知識や技能が身に付くように配慮されている。
② 思考力・判断 力・表現力等 を育む工夫	・「見方・考え方」マークが付された箇所では、地理的な見方・考え方が具体的に示され、学習課題を考察する手掛かりとなるように配慮されている。 ・「学習を振り返ろう」では、学習内容に関する特徴的な写真や資料を選択し、考えを表現する活動が設けられ、学習内容の理解が深まるように配慮されている。
③ 自主的、自発 的な学習を促 す工夫	・「アクティブ地理」では、課題解決に向けて、調べたり、話し合ったりしながら考えを構築する活動が設けられ、主体的・対話的で深い学びにつながるように構成されている。 ・節の問いが小単元に必ず記載され、節を通して課題解決の意識をもち、見通しをもって学習に取り組むことができるように配慮されている。
④ 伝統と文化を 尊重する態度、 道徳性などを 養う工夫	・日本の諸地域の各節にある「写真で眺める」には、文化遺産や伝統産業の写真が掲載され、日本の文化や伝統に対する関心が高まるように配慮されている。 ・「声」では、住人の話や、従業員の話など様々な立場の人の考えが紹介され、国や地域ごとの伝統や文化に触れることができるように配慮されている。
⑤ 現代的な諸課 題への対応や 各教科等との 関連	・「未来に向けて」では、未来の社会をつくる取組がSDGsの17の目標と合わせて紹介され、持続可能な社会の実現に向けた意識が高まるように配慮されている。
⑥ 系統的・発展 的な内容等の 構成・配列	・「小学校、歴史、公民、他教科等との関連」では、小学校や他分野等との関連が示され、学びのつながりを意識できるように配慮されている。 ・「地図帳活用」では、地図帳を確認しながら学習する問いが示され、地図帳を活用して学習を深めることができるように配慮されている。
⑦ 生徒の発達の 段階に適した 本文の内容、 挿絵等の扱い、 印刷・製本	・日本の諸地域の各節の扉では、各地域の建造物や産業、名所などをイラストで描いた地図が掲載され、興味・関心が高まるように工夫されている。 ・巻頭では、教科書や地図帳を活用した学び方が6ページにわたって示され、思考ツールや地図帳の活用の仕方について学びやすいように工夫されている。

教科	社会	種目	社会（地理的分野）	発行者	日 文
----	----	----	-----------	-----	-----

観 点	特 徴 ・ 特 記 す べ き 事 項
① 知識や技能の 習得の工夫	・「スキルUP」では、統計資料、地図、写真などの資料を活用するポイントが示され、基礎的・基本的な技能が身に付くように配慮されている。 ・「資料活用」マークが付された箇所では、資料を読み取ったり、読み取ったことを交流したりする活動が設けられ、資料活用の技能が身に付くように配慮されている。
② 思考力・判断 力・表現力等 を育む工夫	・「まとめとふり返し」では、ゲームや思考ツールを活用して課題を考察する活動が設けられ、思考力・判断力・表現力等が育まれるように配慮されている。 ・地理的な見方・考え方が学習課題とともに示され、見方・考え方を働かせながら学習課題を追究することができるように配慮されている。
③ 自主的、自発 的な学習を促 す工夫	・「トライ」では、学習内容を深めるための具体的な問いが設定され、自主的な学習を促すように配慮されている。 ・「節の問いを立てよう」では、学習内容に関する資料を基に、節の問いの解決に向けた見通しをもつ活動が設けられ、自主的な学習に取り組むことができるように配慮されている。 ・「議論してみよう」では、地域が抱える課題を基に議論する活動が設けられ、地域の課題の解決に主体的に取り組む意識が高まるように配慮されている。
④ 伝統と文化を 尊重する態度、 道徳性などを 養う工夫	・「地理＋α」では、自然愛護、伝統や文化、人権のテーマについてのコラムが紹介され、伝統と文化を尊重する態度が養われるように配慮されている。
⑤ 現代的な諸課 題への対応や 各教科等との 関連	・「持続可能な地域をめざして」では、各地域の取組の様子が、持続可能な社会づくりの観点から紹介され、現代的な諸課題への関心が高まるように配慮されている。 ・東北地方の学習では、東日本大震災による社会の変化や復興への取組に関する小単元が設けられ、災害に強い地域づくりについて考えることができるように配慮されている。
⑥ 系統的・発展 的な内容等の 構成・配列	・脚注で、小学校の既習事項や、歴史的な分野、公民的分野との関連を想起させる問いが示され、系統的・発展的に学習を進めることができるように配慮されている。
⑦ 生徒の発達の 段階に適した 本文の内容、 挿絵等の扱い、 印刷・製本	・巻末に「世界の国別資料」、「日本の県別資料」が掲載され、基本的な統計数値が参照でき、学習に生かすことができるように工夫されている。 ・学習内容と関連したウェブコンテンツを視聴することができる箇所には、タブレットのマークが示され、デジタルコンテンツを活用しやすいように工夫されている。

社 会

〔社会(歴史的分野)〕

東 書	新編 新しい社会 歴史
教 出	中学社会 歴史 未来をひらく
帝 国	社会科 中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き
山 川	中学歴史 日本と世界 改訂版
日 文	中学社会 歴史的分野
自由社	新しい歴史教科書
育鵬社	新しい日本の歴史
学び舎	ともに学ぶ人間の歴史
令 書	国史教科書 第7版

教科	社会	種目	社会（歴史的分野）	発行者	東 書
----	----	----	-----------	-----	-----

観 点	特 徴 ・ 特 記 す べ き 事 項
① 知識や技能の 習得の工夫	・「年表でこの時代をふり返ろう」では、年表を用いて歴史的事象を復習する活動が設けられ、基礎的・基本的な知識を習得できるように配慮されている。 ・「スキル・アップ」では、年表や系図の読み取り方、プレゼンテーションソフトによるまとめ方などのポイントが示され、基礎的・基本的な技能の定着が図られている。
② 思考力・判断 力・表現力等 を育む工夫	・「みんなでチャレンジ」では、歴史的事象の原因や影響などについて調べたり、話し合ったりする活動が設けられ、多面的・多角的に考察し、表現する力を身に付けることができるように配慮されている。 ・「深めよう」では、思考ツールを使った活動例が示され、歴史的な見方・考え方を働かせ、各時代の特色を大観して捉えることができるように配慮されている。 ・「資料から発見！」では、資料を基に時代の特色を捉える設問が示され、歴史的事象について考察し、表現する力を身に付けることができるように配慮されている。
③ 自主的、自発 的な学習を促 す工夫	・「導入の活動」では、章に関係するイラストや資料を基に、章を貫く「探究課題」とその解決に向けた「探究のステップ」が示され、学習の見通しをもち、自主的な学習を行うことができるように配慮されている。 ・「もっと知りたい！」では、学習内容を深めたり、異なった視点から捉えたりするコラムが掲載され、歴史学習への関心や意欲を高めることができるように配慮されている。
④ 伝統と文化を 尊重する態度、 道徳性などを 養う工夫	・「地域の歴史を調べよう」では、人物や産業などの視点から地域の歴史をまとめる活動が示され、地域の歴史や伝統、文化への関心を高めることができるように配慮されている。
⑤ 現代的な諸課 題への対応や 各教科等との 関連	・「歴史のまとめ」では、持続可能な社会の実現に向けて、考えをまとめる活動が設けられ、現代的な諸課題への関心を高めることができるように配慮されている。
⑥ 系統的・発展 的な内容等の 構成・配列	・「小学校で習ったことば」では、小学校の既習事項が掲載され、中学校の学習との系統性を意識できるように配慮されている。 ・他分野、他教科等との関連を示すマークが付され、地理的分野や公民的分野、他教科等の学習に関連する内容を確認することができるように配慮されている。
⑦ 生徒の発達の 段階に適した 本文の内容、 挿絵等の扱い、 印刷・製本	・「デジタルコンテンツを活用しよう」では、コンテンツの活用方法が詳しく示され、デジタルコンテンツを活用しやすいように配慮されている。

教科	社会	種目	社会（歴史的分野）	発行者	教出
----	----	----	-----------	-----	----

観 点	特 徴 ・ 特 記 す べ き 事 項
① 知識や技能の 習得の工夫	・「HOP!」、「STEP!①」では、学習内容が構造化された年表や地図、図版で章の復習をする活動が設けられ、基礎的・基本的な知識の習得につながるように配慮されている。 ・「歴史の技」では、図表や写真、絵図などを読み取って考える設問が示され、歴史的事象について調べ、まとめる技能の定着が図られている。
② 思考力・判断 力・表現力等 を育む工夫	・「STEP!②」、「JUMP!」では、歴史的な見方・考え方を働かせて時代の特色を捉える活動が設けられ、思考力・判断力・表現力等が育まれるように配慮されている。 ・「THINK!」では、資料の読み取りを基に、歴史的事象の原因を考える活動が設けられ、多面的・多角的に考察する力を身に付けることができるように配慮されている。
③ 自主的、自発 的な学習を促 す工夫	・中世以降の章の扉では、学習内容に関わる資料を基に、前の時代との変化に着目して、社会の変化を読み取ったり、時代の特色を予想したりする活動が設けられ、学習の見通しをもって自主的に学習することができるように配慮されている。 ・各章の初めにある「LOOK!」では、学習する時代の特色を捉えるための資料と問いが示され、見通しをもって自主的に学習することができるように配慮されている。
④ 伝統と文化を 尊重する態度、 道徳性などを 養う工夫	・「身近な地域の歴史を調べよう」では、琉球王国やアイヌの文化などを例に、身近な地域を調べる活動が示され、地域の歴史的な歩みや伝統と文化、その継承について関心を高めることができるように配慮されている。
⑤ 現代的な諸課 題への対応や 各教科等との 関連	・「歴史学習の終わりに」では、未来の社会を構想する活動が設けられ、現代的な諸課題について考察したり、解決しようとしたりする態度が養われるように配慮されている。 ・「歴史を探ろう」では、ページの終わりにSDGsに該当する項目が掲載され、歴史的事象と現代的な諸課題との関連を意識できるように工夫されている。
⑥ 系統的・発展 的な内容等の 構成・配列	・「歴史ゲームで遊ぼう」では、小学校の既習事項と関連したゲームに取り組む活動が設けられ、中学校の学習との系統性を意識できるように配慮されている。 ・「TRY!」では、学習内容に関連した発展的な課題が示され、歴史的事象について考察し、表現する活動に取り組むことができるように配慮されている。
⑦ 生徒の発達の 段階に適した 本文の内容、 挿絵等の扱い、 印刷・製本	・「時代スケール」が学習課題とともに示され、学習している時代が捉えやすいように工夫されている。

教科	社会	種目	社会（歴史的分野）	発行者	帝国
----	----	----	-----------	-----	----

観 点	特 徴 ・ 特 記 す べ き 事 項
① 知識や技能の 習得の工夫	・「学習を振り返ろう」では、年表中の出来事をマーカーで強調したり、矢印で結んだりする活動が設けられ、基礎的・基本的な知識の定着につながるように配慮されている。 ・「技能をみがく」では、文献や絵図、統計資料などを読み取る活動が設けられ、歴史的事象について調べ、まとめる技能を身に付けることができるように配慮されている。
② 思考力・判断 力・表現力等 を育む工夫	・「アクティブ歴史」では、資料から得られた情報を基に、根拠を明確にして自分の考えを表現する活動が設けられ、思考力・判断力・表現力等が育まれるように配慮されている。 ・「章の振り返り」では、歴史的な見方・考え方が示され、歴史的事象について多面的・多角的に考察し、表現する力を身に付けることができるように配慮されている。
③ 自主的、自発 的な学習を促 す工夫	・「歴史プラス＋」では、学習内容に関連した発展的な事例が示され、興味・関心に沿った自主的な学習が促されるように配慮されている。 ・「タイムトラベル」では、見開きで掲載された学習する時代の様子が分かるイラストを基に、前の時代と比較しながら特色をつかむ活動が設けられ、これからの学習への興味・関心を高めることができるように配慮されている。
④ 伝統と文化を 尊重する態度、 道徳性などを 養う工夫	・「歴史を探ろう」では、人の交流や当時の生活の様子などが掘り下げて紹介され、我が国の伝統や文化を尊重する態度が養われるように配慮されている。
⑤ 現代的な諸課 題への対応や 各教科等との 関連	・「未来に向けて」では、環境、人権、平和などの観点から、生活の工夫や文化の様子などが紹介され、現代的な諸課題への関心を高めることができるように配慮されている。 ・「これからの社会を構想しよう」では、歴史学習を踏まえてSDGsを探究する活動が示され、現代的な諸課題の解決に向けた意識を高めることができるように配慮されている。
⑥ 系統的・発展 的な内容等の 構成・配列	・地図帳の活用を促す「地図帳活用」マークが設けられ、地理的事象と関連させながら学びを深めることができるように配慮されている。 ・「小学校・地理・歴史・他教科との関連」では、小学校や他分野等との関連が示され、学びのつながりを意識できるように配慮されている。
⑦ 生徒の発達の 段階に適した 本文の内容、 挿絵等の扱い、 印刷・製本	・「世界とのつながりを考えよう」では、当時の世界の様子を示した世界地図や、日本との関連を読み取る世界の都市がイラストで示され、世界と日本のつながりを分かりやすく捉えることができるように工夫されている。

教科	社会	種目	社会（歴史的分野）	発行者	山川
----	----	----	-----------	-----	----

観 点	特 徴 ・ 特 記 す べ き 事 項
① 知識や技能の 習得の工夫	・「用語解説」では、本文内に用いられる難解な用語の解説が示され、学習内容の理解を助け、基礎的・基本的な知識の習得が図られている。 ・各章の「まとめ」では、表や指定された語句を使って学習内容についてまとめる活動が設けられ、基礎的・基本的な知識の定着が図られている。
② 思考力・判断 力・表現力等 を育む工夫	・「歴史を考えよう」では、その時代を代表する美術品や都市、史跡が掲載され、時代の特色について考察できるように配慮されている。 ・「Q」では、本時で学習する歴史的事象の意味や意義などについて思考を促す問いが示され、多面的・多角的に考察する力を身に付けることができるように配慮されている。
③ 自主的、自発 的な学習を促 す工夫	・「ステップアップ」では、学習内容を整理したり、説明したりする問いが示され、自主的に学習内容の振り返りに取り組むことができるように配慮されている。 ・章の扉では、日本と世界の年表や写真資料が掲載され、日本だけではなく、世界の歴史の流れをつかみ、見通しをもって学習に取り組むことができるように配慮されている。
④ 伝統と文化を 尊重する態度、 道徳性などを 養う工夫	・「地域からのアプローチ」では、地域の様子や生活の変化、地域に根ざした文化などに着目し、考察する活動が設けられ、地域の歴史や文化への関心を高めることができるように配慮されている。
⑤ 現代的な諸課 題への対応や 各教科等との 関連	・第7章「現代の日本と世界」の「まとめ」では、環境、宗教、領土等における課題について自分の考えをまとめる活動が設けられ、現代的な諸課題の解決に向けた意識が高まるように配慮されている。
⑥ 系統的・発展 的な内容等の 構成・配列	・「歴史を大きく変えた人物」では、小学校で既習の人物が取り上げられ、小学校の学びを想起して歴史学習に取り組むことができるように配慮されている。 ・「歴史へのアプローチ」では、テーマに沿って掘り下げた発展的な内容が紹介され、幅広い知識を身に付けることができるように配慮されている。
⑦ 生徒の発達の 段階に適した 本文の内容、 挿絵等の扱い、 印刷・製本	・「〇世紀の世界」では、世界地図とともに当時のイラストが示され、主な歴史的事象や世界とのつながりについて捉えることができるように工夫されている。 ・「くわしく見てみよう〇〇」として二次元コードとともに内容が掲載され、学習内容に関連した映像資料を見ることができるように配慮されている。

教科	社会	種目	社会（歴史的分野）	発行者	日 文
----	----	----	-----------	-----	-----

観 点	特 徴 ・ 特 記 す べ き 事 項
① 知識や技能の 習得の工夫	・「スキルUP」では、調査の仕方や年表の読み取り方などが示され、歴史的事象について調べたり、まとめたりする技能を身に付けることができるように配慮されている。 ・「資料活用」では、資料を読み取ったり、読み取ったことを交流したりする活動が設けられ、基礎的・基本的な知識や技能の定着が図られている。
② 思考力・判断 力・表現力等 を育む工夫	・歴史的な見方・考え方が学習課題とともに示され、見方・考え方を働かせながら学習課題を追究できるように配慮されている。 ・「チャレンジ歴史」では、学習課題について段階的にまとめる活動が設けられ、既習内容を基に考察し、表現する力を身に付けることができるように配慮されている。
③ 自主的、自発 的な学習を促 す工夫	・「『歴史との対話』を未来に活かす」では、学習課題の解決に向けた探究活動に取り組みやすい「テーマ別さくいん」が設定され、自主的に学習を進めることができるように配慮されている。 ・各編の冒頭で、資料や年表、地図を基に、編全体を通した問いを設定する活動が設けられ、学習の見通しをもち、自主的に学ぶ意欲を高めることができるように配慮されている。
④ 伝統と文化を 尊重する態度、 道徳性などを 養う工夫	・「先人に学ぶ」や「歴史を掘り下げる」では、現在の社会においても課題となっている事象の背景や、課題解決の取組が取り上げられ、これからの生き方を考えることができるように配慮されている。 ・「地域に学ぶ」では、身近な地域の歴史についてのコラムが掲載され、伝統や文化への関心を高めることができるように配慮されている。
⑤ 現代的な諸課 題への対応や 各教科等との 関連	・「各時代の女性」では、各時代の政治や文化で活躍した女性の姿が紹介され、両性の本質的平等について関心を高めることができるように配慮されている。
⑥ 系統的・発展 的な内容等の 構成・配列	・各編の冒頭で、小学校での学習を想起させる問いが示され、歴史学習への関心を高めることができるように配慮されている。
⑦ 生徒の発達の 段階に適した 本文の内容、 挿絵等の扱い、 印刷・製本	・学習内容と関連したウェブコンテンツを視聴することができる箇所には、タブレットのマークが示され、デジタルコンテンツを活用しやすいように工夫されている。 ・巻末に9ページにわたる日本や世界の歴史に関する年表が、イラストや写真資料とともに掲載され、日本と世界とのつながりを捉えやすいように工夫されている。

教科	社会	種目	社会（歴史的分野）	発行者	自由社
----	----	----	-----------	-----	-----

観 点	特 徴 ・ 特 記 す べ き 事 項
① 知識や技能の 習得の工夫	・「復習問題のページ」では、歴史的事象に関する一問一答の設問や地理的内容の把握を促す設問が示され、基礎的・基本的な知識の習得が図られている。 ・「対話とまとめ図のページ」では、「まとめ図」とそれを基にしたキャラクター同士の対話が示され、時代の特色を捉えることができるように配慮されている。
② 思考力・判断 力・表現力等 を育む工夫	・「時代の特徴を考えるページ」では、「『ひとこと』作文」の作成や「意見交換会」などの活動が設けられ、時代の特色についてまとめ、表現する力を身に付けることができるように配慮されている。 ・「チャレンジ」では、本時で学習した歴史的事象の意味や意義について、表にまとめたり、箇条書きで整理したりする活動が示され、多面的・多角的に考察できるように配慮されている。
③ 自主的、自発 的な学習を促 す工夫	・「もっと知りたいコラム」では、各単元でポイントとなる歴史的事象についての詳しい解説が掲載され、歴史学習への関心や意欲を高めることができるように配慮されている。 ・「調べ学習のページ」では、章のテーマに基づいた興味・関心をもつことができる課題が設けられ、自ら学習に取り組めるように配慮されている。
④ 伝統と文化を 尊重する態度、 道徳性などを 養う工夫	・「人物クローズアップコラム」では、後世の学問や文化などに大きな影響を与えた人物が紹介され、これからの生き方について考えるきっかけとなるように配慮されている。 ・「外の目から見た日本」では、外国人から見た日本の様子が紹介され、当時の日本人の考え方や生き方について考えることができるように配慮されている。
⑤ 現代的な諸課 題への対応や 各教科等との 関連	・第6章「現代の日本と世界」では、人権や平和、環境などに関する資料が掲載され、現代的な諸課題に対する関心を高めることができるように配慮されている。
⑥ 系統的・発展 的な内容等の 構成・配列	・「登場人物紹介コーナー」では、小学校で学んだ人物と関連する出来事が示され、歴史学習への関心を高めることができるように配慮されている。 ・「知っ得ポイント！」では、学習内容に関連した発展的な内容が紹介され、幅広い知識を身に付けることができるように配慮されている。
⑦ 生徒の発達の 段階に適した 本文の内容、 挿絵等の扱い、 印刷・製本	・巻末資料に「元号→西暦早見表」が掲載され、日本の歴史と世界の歴史の関連性を意識できるように工夫されている。

教科	社会	種目	社会（歴史的分野）	発行者	育鵬社
----	----	----	-----------	-----	-----

観 点	特 徴 ・ 特 記 す べ き 事 項
① 知識や技能の 習得の工夫	・「歴史ビュー」では、歴史的事象の意味や文化の特色についての詳しい解説が掲載され、学習内容に関連する基礎的・基本的な知識を習得できるように配慮されている。 ・「資料活用」では、歴史学習に必要な情報を集めたり、読み取ったり、まとめたりする活動が設けられ、資料活用の技能を身に付けることができるように配慮されている。
② 思考力・判断 力・表現力等 を育む工夫	・「学習のまとめ」では、各時代の資料を基に時代の特色などをまとめる活動が設けられ、多面的・多角的に考察し表現する力を身に付けることができるように配慮されている。 ・「探究」では、学習した歴史的事象の意味や意義について、指定された語句を使ってまとめたり、具体例を挙げて説明したりする活動が示され、多面的・多角的に考察できるように配慮されている。
③ 自主的、自発 的な学習を促 す工夫	・「TRY！」では、学習内容に基づいた興味・関心をもつことができる課題が提示され、自主的に学習に取り組めるように配慮されている。 ・「虫の目で見ると」では、時代の特色を捉えやすい資料を読み取り、章や各節の課題を設定する活動が示され、課題解決的な学習ができるように配慮されている。
④ 伝統と文化を 尊重する態度、 道徳性などを 養う工夫	・「日本の美の形」では、原始・古代から現代までの文化財等が写真で掲載され、文化の移り変わりの様子を捉えることで、我が国の文化を尊重する態度が養われるように配慮されている。 ・「人物クローズアップ」では、人権や思想などの分野で功績を残した人物が取り上げられ、これからの生き方について考える機会となるように配慮されている。
⑤ 現代的な諸課 題への対応や 各教科等との 関連	・「歴史ズームイン」では、過去、現在、未来という時間軸で平和や環境などの歴史的事象を捉える活動が示され、現代的な諸課題に関心を高めることができるように配慮されている。
⑥ 系統的・発展 的な内容等の 構成・配列	・「歴史の流れと先人の活躍」では、小学校で学んだ歴史的事象と人物が、時代区分とともに取り上げられ、中学校の学習との系統性を意識できるように配慮されている。 ・「鳥の目で見ると」では、小学校の学習を振り返る「歴史絵巻」が示され、章全体の学習に興味・関心が高まるように配慮されている。
⑦ 生徒の発達の 段階に適した 本文の内容、 挿絵等の扱い、 印刷・製本	・「節の課題」が本時の学習課題とともに記載され、節の課題を常に意識して学習に取り組むことができるように配慮されている。

教科	社会	種目	社会（歴史的分野）	発行者	学び舎
----	----	----	-----------	-----	-----

観 点	特 徴 ・ 特 記 す べ き 事 項
① 知識や技能の 習得の工夫	・「第〇章をふりかえる」では、章の学習内容を年表や地図を用いて復習する問いが設けられ、基礎的・基本的な知識や技能の習得が図られている。 ・「日本の社会・政治・経済の動き」をテーマとしてまとめた巻末の年表では、主な出来事とともに資料が関連付けて掲載され、学習内容の定着が図られている。
② 思考力・判断 力・表現力等 を育む工夫	・「対話・討論にチャレンジ」では、互いに意見を交わす活動例が示され、多様な考えに触れることで、自分の考えをまとめ、表現する力を身に付けることができるように配慮されている。 ・各部の「学習のまとめ」では、時代の特色をスリーヒントゲームやインタビュー、4コマ漫画作成などを通して振り返る活動が設けられ、時代の特色を考察し、表現する力を身に付けることができるように配慮されている。
③ 自主的、自発 的な学習を促 す工夫	・各章の扉では、見開きで世界地図とその章のテーマに基づく各地の様子が写真やイラストで掲載され、見通しをもって学習に取り組むことができるように配慮されている。 ・「歴史を体験する」では、火おこしや糸紡ぎなどの体験や身近な地域や家族の歴史の調査の例が示され、歴史学習に対する興味・関心を高めることができるように配慮されている。
④ 伝統と文化を 尊重する態度、 道徳性などを 養う工夫	・「地域の歴史を歩く」では、東京都の玉川上水を例に、文化を継承している人々の営みが紹介され、我が国の伝統や文化についての理解を深めることができるように配慮されている。 ・巻末の年表にある「日本の文化・宗教」では、各時代の文化財等の写真が掲載され、日本と世界との関わりだけではなく、我が国の伝統や文化についても関心を高めることができるように配慮されている。
⑤ 現代的な諸課 題への対応や 各教科等との 関連	・第10章の扉「今、世界の子どもたちは」では、社会の課題が子供たちの様子とともに掲載され、現代的な諸課題について関心を高めることができるように配慮されている。
⑥ 系統的・発展 的な内容等の 構成・配列	・「フォーカス」では、歴史の舞台に焦点を当てて、学習内容に関連した発展的な内容が紹介され、幅広い知識を身に付けることができるように配慮されている。
⑦ 生徒の発達の 段階に適した 本文の内容、 挿絵等の扱い、 印刷・製本	・見開きページの左上に大きな図版が配置され、本時の学習への興味・関心を高めることができるように工夫されている。

教科	社会	種目	社会（歴史的分野）	発行者	令書
----	----	----	-----------	-----	----

観点	特徴・特記すべき事項
① 知識や技能の 習得の工夫	・「〇〇までのまとめ」では、政治、外交、文化、産業の4つの視点で学習内容を整理する活動が設けられ、基礎的・基本的な知識を習得できるように配慮されている。 ・教科書の上下にある脚注では、歴史を理解する際に重要な用語の解説が掲載され、学習内容の理解を助け、定着につながるように配慮されている。
② 思考力・判断 力・表現力等 を育む工夫	・「考えよう」では、本時で学習した歴史的な事象が起こった理由や影響などについてまとめる活動が示され、多面的・多角的に考察できるように配慮されている。 ・第五、第六章末のまとめ学習の「ディベートをしてみよう」、「ディスカッションしよう」では、議論の方法や進め方などが示され、活動を促すことで、学習内容を基に考察し、表現する力を身に付けることができるように配慮されている。
③ 自主的、自発 的な学習を促 す工夫	・大きな時代区分の冒頭では、政治、外交、文化、産業の4つの視点が示され、見通しをもって学習を進めることができるように配慮されている。 ・「歴史学習の幅を広げよう」では、歴史フィクション作品の例が掲載され、歴史学習への興味・関心を高めることができるように配慮されている。
④ 伝統と文化を 尊重する態度、 道徳性などを 養う工夫	・「日本美術図鑑」では、大きな写真で時代ごとの代表的な文化財が紹介され、我が国の文化への関心を高めることができるように配慮されている。
⑤ 現代的な諸課 題への対応や 各教科等との 関連	・日本がもっている技術、慣習などに着目して、国際貢献について考える問いが示され、現代的諸課題への関心につながるように工夫されている。
⑥ 系統的・発展 的な内容等の 構成・配列	・序章にある「小学校で学んだ人物と文化」では、歴史学習の開始時に、小学校で既習の人物や文化について復習する活動が示され、中学校の学習との系統性を意識できるように構成されている。 ・原典が示されている「文献史料」が掲載され、原典と現代語訳の比較を通して、歴史学習への関心が高まるように工夫されている。
⑦ 生徒の発達の 段階に適した 本文の内容、 挿絵等の扱い、 印刷・製本	・巻末に各種地図や時代ごとの「政権担当者・出来事対照表」が掲載され、時代の流れや当時の社会情勢などを視覚的に捉えることができるように工夫されている。

社 会

〔社会(公民的分野)〕

東 書	新編 新しい社会 公民
教 出	中学社会 公民 とともに生きる
帝 国	社会科 中学生の公民 よりよい社会を目指して
日 文	中学社会 公民的分野
自由社	新しい公民教科書
育鵬社	新しいみんなの公民

教科	社会	種目	社会（公民的分野）	発行者	東 書
----	----	----	-----------	-----	-----

観 点	特 徴 ・ 特 記 す べ き 事 項
① 知識や技能の 習得の工夫	・「チェック」、「トライ」では、学習内容を確認したり、現代社会の見方・考え方を働かせて説明したりする活動が設けられ、基礎的・基本的な知識の定着が図られている。 ・「スキル・アップ」では、具体的な資料を読み取ったり、読み取った情報を基に話し合ったりする活動が設けられ、資料活用の技能の定着が図られている。
② 思考力・判断 力・表現力等 を育む工夫	・「みんなでチャレンジ」では、社会的事象について自分の考えをまとめたり、話し合ったりする活動が設けられ、多面的・多角的に考察し、表現する力を身に付けることができるように配慮されている。 ・「深めよう」では、思考ツールを活用し、現代社会の見方・考え方を働かせ、課題を解決する活動が設けられ、思考力・判断力・表現力等を育むことができるように配慮されている。 ・「対立・合意」、「効率・公正」などのマークが示され、現代社会の見方・考え方を働かせて考察できるように配慮されている。
③ 自主的、自発 的な学習を促 す工夫	・「導入の活動」では、章の学習に関係する資料を基に、章を貫く「探究課題」とその解決に向けた「探究のステップ」が示され、学習の見通しをもち、自主的に学習を行うことができるように配慮されている。 ・「ふり返ろう」では、思考ツールを活用して、学習内容を振り返る活動が設定され、探究課題の解決に主体的に取り組むことができるように配慮されている。
④ 伝統と文化を 尊重する態度、 道徳性などを 養う工夫	・伝統や文化の継承についてのコラムが掲載され、我が国の伝統や文化に対する関心を高めることができるように配慮されている。
⑤ 現代的な諸課 題への対応や 各教科等との 関連	・「環境・エネルギー」、「人権・平和」、「防災・安全」等のテーマに関連するコラムが掲載され、現代的な諸課題について意識を高めることができるように配慮されている。
⑥ 系統的・発展 的な内容等の 構成・配列	・「『公民』の学習をこれからの学習に生かす」では、高校の「公共」との関連が示され、中学校の学習内容が高校の学習へ円滑につながるように配慮されている。 ・写真やグラフなどの資料に「他分野・他教科との関連を図った学習」のマークが付され、既習事項と関連付けて学習できるように配慮されている。
⑦ 生徒の発達の 段階に適した 本文の内容、 挿絵等の扱い、 印刷・製本	・ほぼ全ての見開きページに二次元コードがその内容とともに掲載され、活用しやすいように工夫されている。

教科	社会	種目	社会（公民的分野）	発行者	教出
----	----	----	-----------	-----	----

観 点	特 徴 ・ 特 記 す べ き 事 項
① 知識や技能の 習得の工夫	・「THINK!」では、学習内容に関する資料を読み取り、その特色や理由を考える活動が設けられ、基礎的・基本的な知識や技能の定着が図られている。 ・「HOP!」では、学習内容を図で整理し、文章で表現させる活動が設けられ、基礎的・基本的な知識や技能の定着が図られている。
② 思考力・判断 力・表現力等 を育む工夫	・「STEP!」では、現代社会の見方・考え方を基に、章の問いについて考察する活動が設けられ、思考力・判断力・表現力等を育むことができるように配慮されている。 ・「公民の技」では、資料から読み取ったことを基に、個人や集団で課題解決を図る活動が設けられ、社会的事象を考察し、表現する力を育むことができるように配慮されている。
③ 自主的、自発 的な学習を促 す工夫	・「ウォーミングアップ! 公民」では、身近な課題を通して、単元を貫く課題を捉える活動が設けられ、見通しをもって学習に取り組むことができるように配慮されている。 ・「JUMP!」では、現代社会の課題を基に、未来のためにできることについて考える活動が設けられ、社会への関心を高め、自ら行動していこうとする態度を育むことができるように配慮されている。
④ 伝統と文化を 尊重する態度、 道徳性などを 養う工夫	・我が国の伝統文化の継承に向けた取組や課題が紹介され、文化交流の意義について考えることができるように配慮されている。 ・巻頭の資料で、伝統や文化に関するページが写真資料とともに示され、我が国の伝統や文化について調べやすいように構成されている。
⑤ 現代的な諸課 題への対応や 各教科等との 関連	・「持続可能な社会に向けて」では、現代的な諸課題をテーマに、話し合いや表現活動などが設けられ、持続可能な社会の実現に向けた意識を高めることができるように配慮されている。 ・脚注部に、学習内容とSDGsの目標との関連が示され、現代的な諸課題への関心が高まるように配慮されている。
⑥ 系統的・発展 的な内容等の 構成・配列	・脚注部の「関連」では、小学校や他分野、他教科等との関連が示され、学びのつながりが意識できるように配慮されている。
⑦ 生徒の発達の 段階に適した 本文の内容、 挿絵等の扱い、 印刷・製本	・二次元コードにリンクや動画など内容が分かるマークが示され、活用しやすいように工夫されている。

教科	社会	種目	社会（公民的分野）	発行者	帝国
----	----	----	-----------	-----	----

観 点	特 徴 ・ 特 記 す べ き 事 項
① 知識や技能の 習得の工夫	・「確認しよう」、「説明しよう」では、学習内容を振り返ったり、自分の考えを説明したりする問いが設定され、基礎的・基本的な知識の定着が図られている。 ・「節の振り返り」では、図表とキーワードを用いて学習内容を構造的に整理する活動が設けられ、基礎的・基本的な知識や技能の定着が図られている。
② 思考力・判断 力・表現力等 を育む工夫	・「アクティブ公民」では、現代社会の見方・考え方を働かせ、現代社会に見られる課題を探究する活動が設けられ、多面的・多角的に考察する力を身に付けることができるように配慮されている。 ・「章の振り返り」では、思考ツールを活用し、章の問いの答えをまとめ、表現する活動が設けられ、思考力・判断力・表現力等を育むことができるように配慮されている。 ・「YES・NO」では、現代社会に見られる課題についての賛否の意見が示され、自分の考えを整理し、表現する力を身に付けることができるように配慮されている。
③ 自主的、自発 的な学習を促 す工夫	・「学習の前に」では、イラストの内容を読み解く活動が設けられ、見通しをもち、自主的に学習に取り組むことができるように配慮されている。 ・「探究学習への準備」では、学習内容を基に持続可能な社会の形成に向けた探究テーマを検討する活動が設けられ、自主的に課題探究学習に取り組むことができるように配慮されている。
④ 伝統と文化を 尊重する態度、 道徳性などを 養う工夫	・伝統と文化に関連するコラムに「伝統・文化」マークが付され、我が国の伝統と文化、その継承について関心を高めることができるように配慮されている。
⑤ 現代的な諸課 題への対応や 各教科等との 関連	・「未来に向けて」では、SDGsと関連した「NEXT2030へのヒント」が示され、現代的な諸課題の解決に向けて考えることができるように配慮されている。
⑥ 系統的・発展 的な内容等の 構成・配列	・「公民プラス+」では、現代社会の動きや新しい事例が紹介され、単元の理解をさらに深めることができるように配慮されている。 ・「小学校・地理・歴史・他教科との関連」では、小学校や他分野、他教科等との関連が示され、学びのつながりが意識できるように配慮されている。
⑦ 生徒の発達の 段階に適した 本文の内容、 挿絵等の扱い、 印刷・製本	・「教科書を活用した学び方」では、「QRコンテンツの活用」が掲載され、デジタルコンテンツを活用しやすくなるように配慮されている。

教科	社会	種目	社会（公民的分野）	発行者	日 文
----	----	----	-----------	-----	-----

観 点	特 徴 ・ 特 記 す べ き 事 項
① 知識や技能の 習得の工夫	・「まとめとふり返り」では、ニュースを活用して考える活動が設けられ、実社会に適した基礎的・基本的な知識や技能の定着が図られている。 ・「情報スキルアップ」では、情報モラルや情報リテラシーなど情報を活用するために必要な知識や技能が紹介され、情報活用能力の育成が図られている。
② 思考力・判断 力・表現力等 を育む工夫	・現代社会の見方・考え方が学習課題とともに示され、見方・考え方を働かせながら学習課題を追究できるように配慮されている。 ・「アクティビティ」では、現代社会の見方・考え方を働かせて現代社会に見られる課題について考察し、表現する活動が設けられ、思考力・判断力・表現力等を育むことができるように配慮されている。
③ 自主的、自発 的な学習を促 す工夫	・「学習のはじめに」では、身近な生活と結び付けた学習内容と関連する漫画が提示され、章の問いや節の問いを立てたり、学習を見通したりできるように配慮されている。 ・「チャレンジ公民」では、現代社会の課題について考察し、よりよい社会を構想する活動が設けられ、自主的に学習に取り組むことができるように配慮されている。
④ 伝統と文化を 尊重する態度、 道徳性などを 養う工夫	・「明日に向かって」では、SDGsやバリアフリー、まちづくりなどに取り組む様子が紹介され、社会参画する態度を養うことができるように配慮されている。
⑤ 現代的な諸課 題への対応や 各教科等との 関連	・「公民と他教科とのつながり」では、学習する内容と他教科との関連が図で示され、学びのつながりが意識できるように配慮されている。
⑥ 系統的・発展 的な内容等の 構成・配列	・脚注に、地理的分野や歴史的分野の学習とのつながりが問いの形で示され、既習事項を生かして学ぶことができるように配慮されている。 ・「高校の公民科『公共』とのつながり」では、高校の「公共」との関連が図で示され、高校の学習への関心につながるように配慮されている。
⑦ 生徒の発達の 段階に適した 本文の内容、 挿絵等の扱い、 印刷・製本	・紙面の一部に点字加工が施され、身の回りに多様な表現方法があり、様々な立場の人がよりよく暮らすための工夫があることに気付くことができるように配慮されている。 ・学習内容と関連したウェブコンテンツを視聴することができる箇所には、タブレットのマークが示され、デジタルコンテンツを活用しやすいように工夫されている。

教科	社会	種目	社会（公民的分野）	発行者	自由社
----	----	----	-----------	-----	-----

観 点	特 徴 ・ 特 記 す べ き 事 項
① 知識や技能の 習得の工夫	・「ここがポイント！」では、本文の要点を整理した内容が示され、学習内容の理解を促し、基礎的・基本的な知識の定着が図られている。 ・「ミニ知識」では、学習内容と関連する社会的事象や人物についての解説が示され、理解を助け、基礎的・基本的な知識の定着が図られている。
② 思考力・判断 力・表現力等 を育む工夫	・「アクティブに深めよう」では、現代社会の見方・考え方を働かせ、話し合いながら課題を追究する活動が設けられ、多面的・多角的な考察ができるように配慮されている。 ・「課題の探求」では、レポートと卒業論文を作成する活動が設けられ、既習の知識や技能を活用し、自分の考えをまとめ、表現する力を育むことができるように配慮されている。
③ 自主的、自発 的な学習を促 す工夫	・「この教科書で学ぶにあたって」では、公民を学ぶ目的や教科書の使い方が示され、自主的に学習に取り組むことができるように配慮されている。 ・「学習のまとめと発展」では、学習内容について振り返る「3つの問題」が設定され、学習内容の理解に向けて自主的に取り組むことができるように配慮されている。
④ 伝統と文化を 尊重する態度、 道徳性などを 養う工夫	・「職人の技が生み出した日本の伝統的工芸品」では、13種類の伝統的工芸品が紹介され、身近な地域における伝統と文化に対する興味・関心を高めることができるように配慮されている。
⑤ 現代的な諸課 題への対応や 各教科等との 関連	・終章の「持続可能な社会を目指して」では、「日本人の価値観・感性からSDGsを考えよう」という課題が設定され、現代的な諸課題への考えが深まるように配慮されている。
⑥ 系統的・発展 的な内容等の 構成・配列	・「もっと知りたい」では、学習内容に関連する発展的な内容を扱ったコラムが掲載され、幅広い知識を身に付けることができるように配慮されている。 ・「学習を深めるために」では、「紹介する主な人物」が一覧で示され、歴史的分野と関連付けて学習できるように配慮されている。
⑦ 生徒の発達の 段階に適した 本文の内容、 挿絵等の扱い、 印刷・製本	・「現代社会の歩み」では、戦後の主な出来事が、関連するページとともに示され、本文で確認しやすいように工夫されている。

教科	社会	種目	社会（公民的分野）	発行者	育鵬社
----	----	----	-----------	-----	-----

観 点	特 徴 ・ 特 記 す べ き 事 項
① 知識や技能の 習得の工夫	・「確認」、「探究」では、問いに対する答えを本文から抜き出したり、社会的事象の理由を話し合ったりする活動が設けられ、基礎的・基本的な知識の定着が図られている。 ・「資料活用」では、資料と関連した社会的事象について調べたり、まとめたりする活動が設けられ、資料活用の技能の定着が図られている。
② 思考力・判断 力・表現力等 を育む工夫	・「見方・考え方」では、身近な社会的事象について考える現代社会の見方・考え方が示され、思考力・判断力・表現力等を育むことができるように配慮されている。 ・「やってみよう」では、シミュレーション等の体験的な活動や意見交流する活動が設けられ、現代社会に見られる課題について、多面的・多角的に考察し、表現する力を身に付けることができるように配慮されている。
③ 自主的、自発 的な学習を促 す工夫	・「〇〇の入り口」では、学習内容に関連する現代社会の課題について話し合う活動が設けられ、章の学習に関心を高めることができるように配慮されている。 ・「〇〇のこれから」では、学習内容を踏まえた課題解決に取り組む活動が設けられ、現代社会で見られる課題について、主体的に解決策を考えることができるように配慮されている。
④ 伝統と文化を 尊重する態度、 道徳性などを 養う工夫	・「日本の伝統文化」では、信仰や芸能、武道などの写真が掲載され、我が国の伝統文化に対する関心が高まるように配慮されている。
⑤ 現代的な諸課 題への対応や 各教科等との 関連	・巻頭と巻末に現代的な諸課題に関する資料が掲載され、持続可能な社会の形成に関心が高まるように配慮されている。
⑥ 系統的・発展 的な内容等の 構成・配列	・「地理」、「歴史」マークとともに学習内容に関する用語が示され、他分野との関連を確認し、学習に生かすことができるように配慮されている。 ・「学習を深めよう」では、学習内容に関連している社会的事象など発展的な内容が紹介され、学習内容の理解を深めることができるように配慮されている。
⑦ 生徒の発達の 段階に適した 本文の内容、 挿絵等の扱い、 印刷・製本	・二次元コードが章の冒頭に掲載され、章を通して活用できるように配慮されている。 ・「節の課題」が本時の学習課題とともに記載され、節の課題を常に意識して学習に取り組むことができるように配慮されている。

社 会 〔 地 図 〕

東 書 新編 新しい社会 地図

帝 国 中学校社会科地図

教科	社会	種目	地図	発行者	東書
----	----	----	----	-----	----

観 点	特 徴 ・ 特 記 す べ き 事 項
① 知識や技能の 習得の工夫	・「この地図帳の活用方法」では、一般図や主題図の見方や、目的に合わせた活用方法について解説され、基礎的・基本的な読図の技能を習得しやすいように配慮されている。 ・日本の各地方に関する、地形、降水量、人口分布、土地利用、工業・交通などの共通した主題図が掲載され、各地方の特色や違いを理解できるように配慮されている。
② 思考力・判断 力・表現力等 を育む工夫	・「Bee's eye」の「みっち」、「つーたん」の吹き出しでは、地図や資料の活用の仕方や読み取りのポイントとともに地域の特色や変化の様子などについて考える問いが示され、地図や資料を基に考察し、表現する力が身に付くように配慮されている。 ・「ジャンプ」マークを付した箇所では、関連する資料のページや項目が示され、複数の資料を比較したり、関連付けたりしながら考察する力が身に付くように配慮されている。
③ 自主的、自発 的な学習を促 す工夫	・「Bee's eye」の「ばっち」の吹き出しでは、地図を基に自ら調べたり考えたりする問いが示され、自主的に学習に取り組むことができるように配慮されている。 ・地理的分野の学習内容と関連する主題図が掲載され、地理的分野とのつながりを意識しながら、自主的に学習に取り組むことができるように配慮されている。
④ 伝統と文化を 尊重する態度、 道徳性などを 養う工夫	・「世界と日本の文化」では、言語、祭り、伝統的工芸品、文化保存地域などの写真と分布図が示され、我が国の伝統と文化を尊重する態度が養われるように配慮されている。
⑤ 現代的な諸課 題への対応や 各教科等との 関連	・SDGsと関連が深い主題図にマークが付され、現代社会の課題について関心が高まるように配慮されている。 ・「世界の経済・国際関係」では、世界の一人あたりのGDPや世界の所得と貧困についての資料が取り上げられ、現代的な諸課題への関心が高まるように配慮されている。
⑥ 系統的・発展 的な内容等の 構成・配列	・「江戸・東京の鳥瞰図」では、土地利用の様子や建造物を比較する問いが設けられ、首都である東京がどのように変化、発展してきたかについて考察できるように工夫されている。 ・「地形と水系から読み解く」では、近畿地方や東京都周辺の史跡や水系、古代の境界線が示され、地域社会の発展の様子について考察できるように配慮されている。
⑦ 生徒の発達の 段階に適した 本文の内容、 挿絵等の扱い、 印刷・製本	・全ての見開きページに二次元コードがその内容とともに掲載され、活用しやすいように工夫されている。

教科	社会	種目	地図	発行者	帝国
----	----	----	----	-----	----

観 点	特 徴 ・ 特 記 す べ き 事 項
① 知識や技能の 習得の工夫	・「この地図帳の使い方（１）」では、地図を活用する際のポイントが示され、基礎的・基本的な知識や技能が身に付くように配慮されている。 ・日本の地方別資料の農業、工業・交通の項目では、主題図とともに統計資料が掲載され、各地域の農業や工業の様子が理解できるように配慮されている。
② 思考力・判断 力・表現力等 を育む工夫	・「この地図帳の使い方（２）」では、点、線、面、文字などの要素ごとに分けて見る方法、要素を重ねて関係性を捉え、まとめる方法が示され、地図から情報を読み取ったり、読み取った情報を基に特色をまとめたりする力が身に付くように配慮されている。 ・「日本との結びつき」では、世界と日本の結び付きがグラフなどで示され、日本と世界の国々との関係について考えることができるように配慮されている。
③ 自主的、自発 的な学習を促 す工夫	・世界各州の鳥瞰図では、代表的な建造物や民族衣装などの様々なイラストが掲載され、興味をもって学習することができるように配慮されている。 ・「地図で発見！」では、地理的な見方・考え方を働かせて自ら調べたり考えたりする問いが設けられ、自主的に学習に取り組むことができるように配慮されている。
④ 伝統と文化を 尊重する態度、 道徳性などを 養う工夫	・「日本の歴史・生活・文化」では、日本の史跡や世界遺産、伝統的な生活や文化について示され、我が国の伝統と文化を尊重する態度が養われるように配慮されている。 ・「世界の生活・文化」では、世界各地の衣食住、言語、宗教の特色や違いについて考える活動が設けられ、世界の伝統と文化への関心が高まるように配慮されている。
⑤ 現代的な諸課 題への対応や 各教科等との 関連	・「地図で考える持続可能な社会」では、環境問題や食料問題、紛争問題等のテーマについて、写真や資料、分布図が示され、SDGsの達成に向けた意識が高まるように配慮されている。 ・「日本の自然災害・防災」では、日本の地震と火山の分布、気象災害が掲載され、防災意識が高まるように配慮されている。
⑥ 系統的・発展 的な内容等の 構成・配列	・「もくじ」では、歴史的分野、公民的分野で活用できる項目が示され、系統的・発展的な学習を進めることができるように配慮されている。
⑦ 生徒の発達の 段階に適した 本文の内容、 挿絵等の扱い、 印刷・製本	・主題図が同じ縮尺で掲載され、複数の資料を比較したり、関連付けたりすることができるように配慮されている。

数 学

〔 数 学 〕

東 書	新編 新しい数学 1、2、3 ～MATH CONNECT 数学のつながり～
大日本	数学の世界 1、2、3
学 図	中学校数学 1、2、3
教 出	中学数学 1、2、3
啓林館	未来へひろがる数学 1、2、3
数 研	これからの 数学 1、2、3
日 文	中学数学 1、2、3

※大日本の記載内容については、「令和3～6年度使用中学校用教科書石川県教科用
図書選定資料」に収録されているものと同じである。

教科	数 学	種 目	数 学	発行者	東 書
----	-----	-----	-----	-----	-----

観 点	特 徴 ・ 特 記 す べ き 事 項
① 知識や技能の 習得の工夫	・必ず解けるようになってほしい問題には「♥」マーク、巻末「補充の問題」のやや難しい問題には「★」マークが付されており、習熟の程度に応じて問題に取り組むことで、理解が確認できるように配慮されている。 ・1単位授業の境目には「クイックチェック」、節末には「基本の問題」が設けられており、学習内容の理解を繰り返し確認することで、基礎的・基本的な知識や技能が習得できるように配慮されている。
② 思考力・判断 力・表現力等 を育む工夫	・「深い学び」では、問題発見・解決の過程を通して、思考力・判断力・表現力等を育むことができるように配慮されている。 ・虫眼鏡のマークが付されている吹き出しでは、働かせたい数学的な見方・考え方が示されており、統合的・発展的に考えることができるように配慮されている。
③ 自主的、自発 的な学習を促 す工夫	・「学びをふり返ろう」や「数学の目でふり返ろう」では、問題解決で働かせた数学的な見方・考え方を振り返る活動が設けられており、数学的な見方・考え方を働かせることのよさを実感することができるように配慮されている。 ・巻頭の「大切にしたい数学の学び方」では、振り返りの視点が例とともに示されており、新しく学んだことを実感することができるように配慮されている。
④ 伝統と文化を 尊重する態度、 道徳性などを 養う工夫	・日本の伝統模様である麻の葉や伝統的な書物である塵劫記等が取り上げられており、我が国の伝統や文化に親しむことができるように配慮されている。 ・3年巻末の「数学の自由研究」では、大工道具のさしがねが取り上げられており、職業と数学の関連を知るとともに、伝統的に数学が使われ続けていると実感することができるように配慮されている。
⑤ 現代的な諸課 題への対応や 各教科等との 関連	・「章の問題B」では、SDGsに関連する問いが設けられており、現代的な諸課題について関心を高めることができるように配慮されている。
⑥ 系統的・発展 的な内容等の 構成・配列	・1年では、算数と数学の学びをつなぐ「0章 算数から数学へ」が設けられており、小学校と中学校の円滑な接続が図られるように配慮されている。
⑦ 生徒の発達の 段階に適した 本文の内容、 挿絵等の扱い、 印刷・製本	・二次元コードの配置が紙面右下や各節のタイトルの下に統一されており、活用しやすいように配慮されている。

教科	数 学	種 目	数 学	発行者	大日本
----	-----	-----	-----	-----	-----

観 点	特 徴 ・ 特 記 す べ き 事 項
① 知識や技能の 習得の工夫	・「活動」、「例」、「例題」を用いて学習の流れが分かりやすく構成されており、表現や処理の方法を習得できるように配慮されている。 ・「たしかめ」、「Q」、「たしかめよう」、「○章をふり返ろう」等、繰り返し練習する機会が設けられており、基礎的・基本的な知識や技能が定着するように配慮されている。 ・「プラス・ワン」や「補充問題」で、習熟度に応じて補充的な学習や発展的な学習に取り組むことができるように配慮されている。
② 思考力・判断 力・表現力等 を育む工夫	・「Q」の中に「判断しよう」、「伝えよう」が設けられており、学習した内容をもとに判断したり、数学の用語や図等を使って自分の考えを伝えたりすることで、数学的な判断力・表現力を育むことができるように配慮されている。 ・利用のページでは、問題発見・解決の流れを意識して取り組むことで、見いだした問題の解決方法が身に付くように配慮されている。
③ 自主的、自発 的な学習を促 す工夫	・既習事項との関連を重視した導入課題「考えよう」が設けられており、既習事項を基に、問題や疑問を見だし、新たな学習への興味・関心をもって取り組めるように配慮されている。 ・各章や巻末に「MATHFUL（マスフル）」、「社会にリンク」、「付録」が設けられており、数学が人間社会の歴史や文化とともに発展してきたことを紹介するなど、身の回りにある数学に目を向け、数学と社会とのつながりや数学の有用性を実感できるように配慮されている。
④ 伝統と文化を 尊重する態度、 道徳性などを 養う工夫	・和算や折り紙、和歌等、日本に古来から伝わる教材が取り上げられている。
⑤ 現代的な諸課 題への対応や 各教科等との 関連	・震源からの距離の求め方や選挙結果の予想等の教材が提示されており、視野を広げて学習への興味・関心がもてるように配慮されている。
⑥ 系統的・発展 的な内容等の 構成・配列	・巻頭の「もくじ」や「思い出そう」では、既習事項からのつながりや、「知りたい！高校ではどんな数学を学ぶのかな？」では、高等学校で学ぶ数学の内容と中学校での学習との関連等、数学の学習のつながりや広がりを実感できるように配慮されている。
⑦ 生徒の発達の 段階に適した 本文の内容、 挿絵等の扱い 印刷・製本	・ウェブページのアドレス及び二次元コードが、巻頭に記載されており、学習内容と関連したウェブコンテンツを見ることができる箇所には、「WEB」マークが示されている。

教科	数 学	種 目	数 学	発行者	学 図
----	-----	-----	-----	-----	-----

観 点	特 徴 ・ 特 記 す べ き 事 項
① 知識や技能の 習得の工夫	・数と式の領域では、「計算力を高めよう」が設けられており、本文の該当ページを振り返りながら計算力を高められるように配慮されている。 ・章末の「章のまとめ問題」では、「基本」、「応用」、「活用」の問題が設けられており、習熟の程度に応じて問題に取り組むことで、学習内容が定着するように図られている。
② 思考力・判断 力・表現力等 を育む工夫	・「数学的活動」では、身の回りの事象から問題を発見し、解決する過程が示されており、事象を数理的に捉え、数学的に考える思考力を育むことができるように配慮されている。 ・導入問題である「Q」では、問題に対してどのような数学的な見方・考え方を働かせるのが例として示されており、問題解決に向けて見通しを立てることができるように配慮されている。 ・「説明する力をつけよう」では、生徒同士の話し合いの例が示されており、他者への説明の仕方を、対話を通して考えることで、簡潔・明瞭・的確に表現する力を育むことができるように配慮されている。
③ 自主的、自発 的な学習を促 す工夫	・章末の「できるようになったこと」、「さらに学んでみたいこと」では、その章で学んだことを自己評価して振り返ったり、次の学びの意欲を引き出したりすることで、主体的に学習を振り返ることができるように配慮されている。
④ 伝統と文化を 尊重する態度、 道徳性などを 養う工夫	・「数学へのいざない」では、和算や大工道具のおおがね等が取り上げられており、日本の伝統や文化に触れることができるように配慮されている。
⑤ 現代的な諸課 題への対応や 各教科等との 関連	・巻末の「今の自分を知ろう」では、SDG s の話題を通して、国際的な課題が取り上げられており、現代的な諸課題への理解を深めることができるように配慮されている。
⑥ 系統的・発展 的な内容等の 構成・配列	・各領域の前に、「ふりかえり」が設けられており、小学校や前学年までの学習内容を確認することで、新しい章の学びにスムーズに入ることができるように配慮されている。 ・全学年の「プログラミングを体験してみよう」では、関数領域に関する題材が取り上げられており、系統的にプログラミング的思考を育むことができるように配慮されている。
⑦ 生徒の発達の 段階に適した 本文の内容、 挿絵等の扱い、 印刷・製本	・ICT機器を利用した活動ができる箇所には、二次元コードとともに、「活動」、「アニメーション」、「データ」等のデジタルコンテンツの内容が分かる言葉が示されている。

教科	数 学	種 目	数 学	発行者	教 出
----	-----	-----	-----	-----	-----

観 点	特 徴 ・ 特 記 す べ き 事 項
① 知識や技能の 習得の工夫	・「例」と「問」の間に、「例」に類似した「たしかめ」が設けられており、基礎的・基本的な知識や技能の習得ができるように配慮されている。 ・各章のはじめには「○章を学習する前に」、章末には「学習のまとめ」が設けられており、学習内容を繰り返し確認することで、基礎的・基本的な知識や技能の定着が図られている。
② 思考力・判断 力・表現力等 を育む工夫	・「羅針盤」マークが付された箇所では、具体的な問題場面で、働かせてほしい数学的な見方・考え方が示されており、数学的な見方・考え方を意識して、問題解決ができるように配慮されている。 ・「学びのプロセス」では、知識や技能を活用する場面が設けられており、問題発見・解決の過程を通して、思考力・判断力・表現力等を育むことができるように配慮されている。 ・「学んだことを活用しよう」や「学んだことを活用しよう＋」では、知識や技能を活用する問題が設けられており、既習を生かして学びを深めることができるように配慮されている。
③ 自主的、自発 的な学習を促 す工夫	・「章とびら」では、実社会や生活、先端テクノロジー等、数学に関する話題が取り上げられており、数学を学ぶことの必要性を感じ、興味や関心をもって学習に取り組むことができるように配慮されている。 ・「Let's TRY」では、作業、観察等に取り組んだり、新しい法則や性質を見いだしたりする問題場面が設けられており、主体的に学習に取り組むことができるように配慮されている。
④ 伝統と文化を 尊重する態度、 道徳性などを 養う工夫	・「数学の広場」では、日本の伝統模様や大工道具のさしがね等の題材が取り上げられており、我が国の伝統と文化に興味・関心をもつことができるように配慮されている。
⑤ 現代的な諸課 題への対応や 各教科等との 関連	・3年巻末の「数学の広場＋」では、SDGsのゴールとともに、地球温暖化問題が取り上げられており、現代的な諸課題について興味や関心を高めることができるように配慮されている。
⑥ 系統的・発展 的な内容等の 構成・配列	・巻末の「学びのマップ」では、前学年と当該学年の内容的な系統と既習のまとめが掲載されており、学習のつながりが分かるように配慮されている。
⑦ 生徒の発達の 段階に適した 本文の内容、 挿絵等の扱い、 印刷・製本	・ICT機器を効果的に活用できる場面にデジタルコンテンツ「まなびリンク」が用意されており、操作、統計ツール、動画等の内容が分かるように記載されている。 ・巻末の「さくいん」では、全ての用語に、日本語と英語が併記されている。

教科	数 学	種 目	数 学	発行者	啓林館
----	-----	-----	-----	-----	-----

観 点	特 徴 ・ 特 記 す べ き 事 項
① 知識や技能の 習得の工夫	・「例」や「例題」には、タイトルが示されており、学習内容が繰り返し確認できるとともに、基礎的・基本的な知識や技能の定着が図られている。 ・章末の「学びをたしかめよう」では、問題と合わせて「○章で学習したこと」が示されており、必要に応じて、復習ができるように配慮されている。
② 思考力・判断 力・表現力等 を育む工夫	・「○○の利用」の節では、問題発見・解決の流れが3つのステップで示されており、身の回りの事象を数学的に捉え、問題解決するときの考え方が意識できるように配慮されている。 ・表現活動の場面では、「説明しよう」、「話しあおう」、「まとめよう」が設けられており、他者にも分かりやすい表現を考えたり、考えを整理して記録したりすることを通して、思考力・判断力・表現力等を育むことができるように配慮されている。 ・きまりを見つける、条件をかえる、すでに学んだ形にするなど、学習の中で働かせた数学的な見方・考え方が、本文への下線と「大切な考え方」の標識で示されており、統合的・発展的に考えることができるように配慮されている。
③ 自主的、自発 的な学習を促 す工夫	・各章末に「○章のあしあと」が設けられており、学習を振り返って、分かったことやできるようになったこと、さらに学んでみたいこと等をまとめる活動を通して、自らの学びの過程を確認し、次の学びへと進むことができるように配慮されている。
④ 伝統と文化を 尊重する態度、 道徳性などを 養う工夫	・さっさ立てや大工道具の曲尺等を扱った問題が取り上げられており、我が国の伝統と文化に興味・関心をもって学ぶことができるように配慮されている。 ・「数学ライブラリー」では、数学者の功績が取り上げられており、数学の歴史に興味をもつことができるように配慮されている。
⑤ 現代的な諸課 題への対応や 各教科等との 関連	・リサイクル活動等のSDG sに関連する題材には、「SDG s」マークが付されており、持続可能な社会の形成について関心を高めることができるように配慮されている。
⑥ 系統的・発展 的な内容等の 構成・配列	・1年巻末の「学びをふりかえろう」では、算数で学んだことのうち、苦手とする生徒の多い内容が取り上げられており、算数と数学の学習を円滑につなぐことができるように配慮されている。
⑦ 生徒の発達の 段階に適した 本文の内容、 挿絵等の扱い、 印刷・製本	・I C T機器を利用した活動ができる箇所に二次元コードが記載されており、内容が分かるマークと説明が示されている。

教科	数 学	種 目	数 学	発行者	数 研
----	-----	-----	-----	-----	-----

観 点	特 徴 ・ 特 記 す べ き 事 項
① 知識や技能の 習得の工夫	- 各章のはじめの「ふりかえり」では、その章に関連する既習事項がまとめられており、新たな章の学びがスムーズに進むように配慮されている。 - 既習を想起する場面や、間違えやすい場面等では、アニメキャラクターにより、考え方のヒントが示されており、個に応じた基礎的・基本的な知識や技能が習得できるように配慮されている。
② 思考力・判断 力・表現力等 を育む工夫	- 生徒キャラクターの対話場面では、課題に取り組む際に、どのようなことに着目して考えればよいかを示されており、数学的な見方・考え方を自然に身に付けることができるように配慮されている。 - 章末の「学んだことを活用しよう」では、身の回りの問題の解決に取り組むことを通して、思考力・判断力・表現力等を養うことができるように配慮されている。
③ 自主的、自発 的な学習を促 す工夫	- 巻頭の「ノートづくり方」では、ノートを書くときに意識したいことが示されており、主体的に学習に取り組む態度を育むことができるように配慮されている。 - 後見返しの「学びの自己評価チェック」では、「自分で学ぶ力をチェック！」と「学び合いの力をチェック！」が設けられており、自主的な学び、協働的な学びそれぞれについて、学び方に対する意識を高めることができるように配慮されている。
④ 伝統と文化を 尊重する態度、 道徳性などを 養う工夫	日本の伝統模様や和算等が取り上げられており、日本の伝統のよさを感じ取ることができるように配慮されている。
⑤ 現代的な諸課 題への対応や 各教科等との 関連	巻頭では、学びとSDGsとのつながりについて示されており、持続可能な社会の実現について、関心を高めることができるように配慮されている。
⑥ 系統的・発展 的な内容等の 構成・配列	3年巻末の「中学校3年間のまとめ」では、3年の学習内容を1、2年の学習内容と併せて振り返ることができ、3年間の学習のつながりが確認できるように配慮されている。 1年では、問いかけ文に「～しましょう」という表現が用いられており、小学校から中学校への学習の接続が円滑になるように配慮されている。
⑦ 生徒の発達の 段階に適した 本文の内容、 挿絵等の扱い、 印刷・製本	下部に掲載した二次元コードからデジタルコンテンツが利用できるようになっており、該当箇所及び二次元コードの横に「L i n k 補充」、「L i n k イメージ」、「L i n k 資料」等の内容が分かるようにコンテンツの種類が記載されている。

教科	数 学	種 目	数 学	発行者	日 文
----	-----	-----	-----	-----	-----

観 点	特 徴 ・ 特 記 す べ き 事 項
① 知識や技能の 習得の工夫	・新しい章に入る前には、「次の章を学ぶ前に」が設けられており、その章で利用する既習事項の確認ができるように配慮されている。 ・小節ごとに、「めあて」が示されたり、「例」に見出しが付されたりしており、必要に応じて学習内容を確認しながら復習をすることができ、基礎的・基本的な知識や技能の定着が図られている。
② 思考力・判断 力・表現力等 を育む工夫	・数学的な見方・考え方を働かせて問題解決する場面では、「大切な見方・考え方」が具体的に示されており、数学的活動に取り組みながら、思考力・判断力・表現力等を育むことができるように配慮されている。 ・「説明できるかな？」が全ての章に設けられており、方法や理由等を数学的な表現を用いて説明する問題に取り組むことで、表現力を養うことができるように配慮されている。 ・問題解決型の授業展開を明示した「学び合おう」では、話し合いを通して学びを深めていくための「対話シート」が設けられており、主体的・対話的で深い学びを実現できるように配慮されている。
③ 自主的、自発 的な学習を促 す工夫	・巻頭の「学びに向かう力を育てよう！」では、身に付けてほしい学習に取り組む態度が示されており、学びに向かう力を養うことができるように配慮されている。 ・巻末には、「ふり返りシート」が設けられており、学習の過程を振り返ることで、自己の変容が自覚できるように配慮されている。
④ 伝統と文化を 尊重する態度、 道徳性などを 養う工夫	・巻末の「数学研究室」では、和算やさっさ立て等が取り上げられており、我が国の伝統と文化に対する理解を深めることができるように配慮されている。
⑤ 現代的な諸課 題への対応や 各教科等との 関連	・巻末の「数学マイトライ」では、SDG sを紹介するコラム「SDG s と数学」が設けられており、数学と社会のつながりを意識できるように配慮されている。
⑥ 系統的・発展 的な内容等の 構成・配列	・全学年の「プログラムと数学」では、プログラムやアルゴリズムを考える題材が設けられており、段階的にプログラミング的思考を育むことができるように配慮されている。
⑦ 生徒の発達の 段階に適した 本文の内容、 挿絵等の扱い、 印刷・製本	・ICT機器を利用した活動ができる該当箇所には、二次元コードが記載されており、「見る」、「ためす」、「身につける」等の内容が分かる言葉が示されている。 ・巻末の「さくいん」では、各項目にルビが付され、日本語と英語が併記されている。

理科

〔理科〕

東 書 新編 新しい科学 1、2、3

大日本 理科の世界 1、2、3

学 図 中学校 科学 1、2、3

教 出 自然の探究 中学理科 1、2、3

啓林館 未来へひろがるサイエンス 1、2、3

※大日本の記載内容については、「令和3～6年度使用中学校用教科書石川県教科用図書選定資料」に収録されているものと同じである。

教科	理科	種目	理科	発行者	東書
----	----	----	----	-----	----

観 点	特 徴 ・ 特 記 す べ き 事 項
① 知識や技能の 習得の工夫	・「?に対する自分の考えをまとめよう」では、使用するキーワードが示され、巻末にもまとめ方の例が示されており、学習内容の定着を図ることができるように構成されている。 ・「ここがポイント」では、公式や重要事項が示されており、学習内容を確認しながら基礎的・基本的な知識や技能の定着を図ることができるように配慮されている。
② 思考力・判断 力・表現力等 を育む工夫	・「分析・解釈」、「検討・改善」では、対話例や理科の見方・考え方が示されており、科学的に探究することができるように構成されている。 ・「結果の見方」、「考察のポイント」では、必要な視点が具体で示されており、理科の見方・考え方を働かせながら、観察・実験の結果を分析・解釈できるように配慮されている。
③ 自主的、自発 的な学習を促 す工夫	・「問題発見 レッツスタート!」では、身の回りの事象について考える場面が設けられており、興味・関心を高め、主体的に学べるように構成されている。 ・「おてがる科学」では、家庭で実践できる内容も紹介されており、学びを生かして自主的に学習を広げることができるように配慮されている。
④ 伝統と文化を 尊重する態度、 道徳性などを 養う工夫	・「社会につながる科学」では、日本人研究者・技術者の話題が取り上げられており、科学と我が国の伝統や文化、社会との関連について関心を高められるように配慮されている。
⑤ 現代的な諸課 題への対応や 各教科等との 関連	・「(教科名)で学ぶこと」では、学習している内容と関連のある教科名とともに学ぶ内容が示されており、教科等横断的な学習につながるように配慮されている。
⑥ 系統的・発展 的な内容等の 構成・配列	・「これまでに学んだこと」では、イラストや写真とともに学習内容が掲載されており、既習を想起しやすいように配慮されている。 ・「歴史にアクセス」では、科学分野の偉人に関するコラムが漫画を用いて紹介されており、科学史や発展的な学習への関心につながるように配慮されている。
⑦ 生徒の発達の 段階に適した 本文の内容、 挿絵等の扱い、 印刷・製本	・本時の探究の過程がフローチャートで左下に示されており、学習活動の位置付けが見えるように構成されている。 ・観察・実験のページには、「観察手順」や「実験手順」の二次元コードが示されており、観察・実験に際して、デジタルコンテンツが活用できるように配慮されている。

教科	理科	種目	理科	発行者	大日本
----	----	----	----	-----	-----

観 点	特 徴 ・ 特 記 す べ き 事 項
① 知識や技能の 習得の工夫	・ 3年では、巻末に3学年分の「学習のまとめ」が掲載されており、3年間の学びが確認できるように配慮されている。 ・ 「コツ」では、円滑かつ安全に観察・実験を進めることができるように、着眼点や技能のポイントが示されている。
② 思考力・判断 力・表現力等 を育む工夫	・ 各学年で重点を置く探究の過程が、色を変えるなど強調して示されており、意識して学習に取り組めるように配慮されている。 ・ 単元末の「探究活動」では、これまでに身に付けた見方・考え方や学んだことを生かして、新たな課題を解決することにより、さらに見方・考え方が確かなものになるよう配慮されている。
③ 自主的、自発 的な学習を促 す工夫	・ 家庭で自主学習を進めることができるように、観察・実験・実習が記載されているすべてのページの裏面に「結果の例」や「私のレポート」が示されている。 ・ 日常生活と理科の学習との関連を紹介した「くらしの中の理科」が掲載されており、生徒が学びを広げたり、興味・関心を高めたりできるように配慮されている。
④ 伝統と文化を 尊重する態度、 道徳性などを 養う工夫	・ 科学のあゆみについて、日本の歴史と科学技術の発展が併記されており、世界の科学技術の発展について領域ごとに比較できるように記載されている。
⑤ 現代的な諸課 題への対応や 各教科等との 関連	・ 「ことば」では、語句の意味や英語での表現などが紹介されており、国語科や英語科の学習との関連が図られている。
⑥ 系統的・発展 的な内容等の 構成・配列	・ 学習内容とつながりのある発展的な内容には「発展」マークが付され、いつ、どの教科で学ぶかが示されており、系統性を意識して学習ができるように配慮されている。 ・ 生徒の興味・関心に応じて学びを深められるように、科学館やジオパーク、動物園などの紹介が記載されている。
⑦ 生徒の発達の 段階に適した 本文の内容、 挿絵等の扱い 印刷・製本	・ ウェブページのアドレス及び二次元コードが、巻頭に記載されており、学習内容と関連したウェブコンテンツを見ることができる箇所には、マークが示されている。

教科	理科	種目	理科	発行者	学 図
----	----	----	----	-----	-----

観 点	特 徴 ・ 特 記 す べ き 事 項
① 知識や技能の 習得の工夫	・ 単元末の「学習のまとめ」では、「用語を覚える」と「基本問題に慣れる」に分けて設定されており、段階を踏んで学習内容を確認できるように構成されている。 ・ 巻末の「基本操作」では、観察・実験に必要な操作や技能についてまとめて掲載されており、基礎的・基本的な知識や技能の習得ができるように配慮されている。
② 思考力・判断 力・表現力等 を育む工夫	・ 教科書の下部に、課題に取り組む上で必要な「この時間の見方」、「考え方」が1 単位時間ごとに掲載されており、理科の見方・考え方を働かせながら、具体的に考えることができるように配慮されている。 ・ 巻末の「思考をさらに深める」では、全国学力・学習状況調査等の問題例とともに、考える視点が示されており、科学的な考え方を深めることができるように配慮されている。
③ 自主的、自発 的な学習を促 す工夫	・ 巻頭の「なぜ理科を学ぶの？」では、理科を学ぶ意義について、イラストの会話形式で説明されており、主体的に学習に取り組む態度を養うことができるように配慮されている。 ・ 単元導入では、「学びのあしあと」、「ふり返ろう・つなげよう」、「Can-Do list」がまとめて掲載されており、これからの学びに見通しがもてるように配慮されている。
④ 伝統と文化を 尊重する態度、 道徳性などを 養う工夫	・ 金属加工技術や琴の仕組み、祭りの山車を引く人たちが掲載されており、日本の伝統工業や伝統文化への理解を深めることができるように配慮されている。
⑤ 現代的な諸課 題への対応や 各教科等との 関連	・ 「SDG s を意識して脱炭素社会へ」では、日本各地で行われている SDG s への取組が示されており、環境保全の大切さについて考えることができるように配慮されている。
⑥ 系統的・発展 的な内容等の 構成・配列	・ 発展的な学習内容について、巻末に補充資料として読み物形式でまとめて示されており、科学へのさらなる興味・関心が高まるように配慮されている。
⑦ 生徒の発達の 段階に適した 本文の内容、 挿絵等の扱い、 印刷・製本	・ 全てのページにおいて、紙面上部に二次元コードが掲載されている。 ・ 章のはじめに見開き 2 ページを用いて、章の学習内容に関連する写真が大きく掲載されており、日常生活とのつながりが実感できるように配慮されている。

教科	理科	種目	理科	発行者	教出
----	----	----	----	-----	----

観 点	特 徴 ・ 特 記 す べ き 事 項
① 知識や技能の 習得の工夫	・「要点をチェック」では、章や節の小さなまとまりごとに、学習した内容と関連ページが示されており、基礎的・基本的な知識や技能が定着するように構成されている。 ・「理科室のきまりと応急処置」が全学年の巻頭に掲載されており、常に確認できるようにすることで、正しく安全に実験ができるように配慮されている。
② 思考力・判断 力・表現力等 を育む工夫	・「疑問から探究してみよう」では、自然の事物や現象に目を向け、疑問を見付けることを促すマークや資料が示されており、科学的に探究する力を育成できるように配慮されている。 ・「話し合おう」では、話し合いの観点や視点が明確に示されており、互いの考えを取り入れながら思考したり、表現したりすることができるように設定されている。
③ 自主的、自発 的な学習を促 す工夫	・巻頭の「探究の進め方」では、折込みになっているページを広げることで、常に探究の過程を確認することができ、主体的に探究を進めていくことができるように配慮されている。 ・「結論」では、観察・実験で得た結果を基に、明らかになったことがまとめて記載されており、自主的に学習しやすいように配慮されている。
④ 伝統と文化を 尊重する態度、 道徳性などを 養う工夫	・「ハローサイエンス」では、揚げ浜式製塩法や打ち水などの日本古来の知恵や伝統文化について掲載されており、科学と伝統や文化との関連を実感できるように配慮されている。
⑤ 現代的な諸課 題への対応や 各教科等との 関連	・「理科で使う算数・数学」では、理科の学習に関連する算数・数学の学習内容が全学年の巻末資料に示されており、既習事項を活用して学習を進めることができるように配慮されている。
⑥ 系統的・発展 的な内容等の 構成・配列	・各単元冒頭の「学んでいくこと」では、既習事項がどの章の学びと関連があるのかについてまとめて掲載されている。 ・「発展 高校（科目名）」では、高校理科の科目名が掲載されており、系統的な学びを意識できるように配慮されている。
⑦ 生徒の発達の 段階に適した 本文の内容、 挿絵等の扱い、 印刷・製本	・二次元コードを紙面下部に統一し、内容とともに掲載されており、見付けやすく活用しやすいように構成されている。

教科	理科	種目	理科	発行者	啓林館
----	----	----	----	-----	-----

観 点	特 徴 ・ 特 記 す べ き 事 項
① 知識や技能の 習得の工夫	・「実験を正しく安全に進めるために」では、安全のために必要な技能についてまとめて掲載されており、繰り返し確認することができるように配慮されている。 ・「学習のまとめ」では、章に関連する課題とまとめが掲載されており、基礎的・基本的な知識や技能の定着が図られている。
② 思考力・判断 力・表現力等 を育む工夫	・「Action 活用してみよう」では、学習した知識を活用する場面が設定されており、新たな課題について思考したり、表現したりする力が高まるように配慮されている。 ・「わたしのレポート」では、まとめる際のポイントが示されており、実験レポートを用いて、実験して分かった事実と自分の考えを分けて表現できるように配慮されている。
③ 自主的、自発 的な学習を促 す工夫	・各単元に「探Q実験」が設定されており、巻末にある「探Qシート」を活用して自ら学習を進めることで、探究の過程に沿った学習を行うことができるように配慮されている。 ・各章の導入では、具体的な事例を基にした問いが写真とともに示されており、興味・関心を引き出し、章の学習につなげるように構成されている。
④ 伝統と文化を 尊重する態度、 道徳性などを 養う工夫	・「深めるラボ」では、昔の人が見付けた知恵や現在まで受け継がれている様々な工夫等が取り上げられており、伝統と文化を尊重する態度が身に付くように配慮されている。
⑤ 現代的な諸課 題への対応や 各教科等との 関連	・「防災減災ラボ」では、自然災害の仕組みや影響、また災害に備えるための技術や取組等が示されており、自分ごととして考えることができるように配慮されている。
⑥ 系統的・発展 的な内容等の 構成・配列	・「部活ラボ」、「お仕事ラボ」、「お料理ラボ」では、職業や科学技術、食材等のコラムが示されており、理科の学習と日常生活や社会との関連について実感できるように構成されている。
⑦ 生徒の発達の 段階に適した 本文の内容、 挿絵等の扱い、 印刷・製本	・「ICT」マークとともにICTを活用する活動場面が示されており、観察・実験において効果的な活用ができるように配慮されている。 ・「つながるページ」が紙面下部に統一して掲載されており、関連するページを見付けやすくなるように構成されている。

音 楽

〔音楽（一般）〕

教 出 中学音楽 1、2・3上、2・3下 音楽のおくりもの

教 芸 中学生の音楽 1、2・3上、2・3下

教科	音楽	種目	音楽（一般）	発行者	教出
----	----	----	--------	-----	----

観 点	特 徴 ・ 特 記 す べ き 事 項
① 知識や技能の 習得の工夫	・「Sing! Sing!」では、姿勢、息のコントロール、母音の発音等が示され、歌唱表現に関わる基礎的・基本的な知識や技能を習得することができるように配慮されている。 ・巻末の「楽典」では、中学校で新しく習う用語や記号が、初出表記ページとともに示され、音楽活動を通して知識を習得することができるように配慮されている。
② 思考力・判断 力・表現力等 を育む工夫	・「比べてみよう」では、曲想や音楽の構造の異なる曲が示され、題材を通して学習した知識や技能を生かして、学びを深めることができるように配慮されている。 ・「Active!」、「どんな特徴があるのかな?」では、音楽を形づくっている要素とその働きを捉える学習活動が設けられ、表現や鑑賞に生かすことができるように図られている。 ・「表現の仕方を調べてみよう」では、鑑賞曲の音楽の特徴を整理し、比較する学習活動が設けられ、音楽表現の共通性や固有性を考えることができるように配慮されている。
③ 自主的、自発 的な学習を促 す工夫	・巻頭の「学習の進め方 How to Study」では、それぞれの領域や分野を学ぶにあたっての目標が示され、見通しをもって学習に取り組むことができるように配慮されている。 ・「音のスケッチ」では、段階を踏んだ学習活動が創作例とともに示され、主体的に創作活動を行うことができるように配慮されている。
④ 伝統と文化を 尊重する態度、 道徳性などを 養う工夫	・「郷土のさまざまな民謡」、「郷土の音楽や芸能」では、日本各地の民謡や芸能が掲載され、我が国の音楽文化を尊重する態度を養うことができるように配慮されている。 ・「日本の歌 みんなの歌」の「A message for you」では、歌唱教材が生まれた背景が示され、我が国の自然や四季を味わうことができるように配慮されている。
⑤ 現代的な諸課 題への対応や 各教科等との 関連	・「コンピュータで表現しよう」、「私たちのくらしと音楽～音楽と著作権について～」、「コンピュータと音楽」では、コンピュータを使った創作例や著作権が取り上げられ、コンピュータと音楽との関わりについて考えることができるように配慮されている。
⑥ 系統的・発展 的な内容等の 構成・配列	・「Let's Try!」では、声や楽器、唱歌、指揮を取り入れた体験的な音楽活動が取り上げられ、発展的な学習を行うことができるように配慮されている。
⑦ 生徒の発達の 段階に適した 本文の内容、 挿絵等の扱い、 印刷・製本	・学習内容と関連したデジタルコンテンツを見ることができる箇所には、マーク入りの二次元コードが記載され、個に応じた学習を行うことができるように配慮されている。

教科	音楽	種目	音楽（一般）	発行者	教 芸
----	----	----	--------	-----	-----

観 点	特 徴 ・ 特 記 す べ き 事 項
① 知識や技能の 習得の工夫	・「My Voice！」では、歌声づくり、声の出る仕組み、変声期についての説明等が示され、歌唱表現に関わる基礎的・基本的な知識や技能を習得することができるように配慮されている。 ・「音楽の約束」では、用語や記号がまとめられるとともに、関連ページには「音楽の約束」へのリンクが示され、音楽活動を通して知識を習得することができるように配慮されている。
② 思考力・判断 力・表現力等 を育む工夫	・各教材では、学習目標とともに音楽を形づくっている要素や、思考を促す問いが示され、音楽的な見方・考え方を働かせながら音楽を捉えることができるように配慮されている。 ・「学びのコンパス」では、音楽の特徴や曲の構成を捉える学習の手順が示され、自分の考えを書き込みながら、段階を踏んで学習を深めることができるように配慮されている。
③ 自主的、自発 的な学習を促 す工夫	・「My Melody」、「Let's Create！」では、課題や条件、学びの手掛かりとなるキャラクターの吹き出しが示され、見通しをもって創作することができるように配慮されている。 ・「音楽の学びを振り返ろう」では、音楽を形づくっている要素や要素同士の関連に着目して曲を聴く活動が示され、学んだことを自覚することができるように配慮されている。
④ 伝統と文化を 尊重する態度、 道徳性などを 養う工夫	・「日本の民謡」、「受け継ごう！郷土の祭りや芸能」、「私たちが受け継ぐ郷土の祭りや芸能」では、中学生が地域の祭りや芸能に携わる様子が掲載され、日本の伝統的な音楽を尊重する態度を育むことができるように配慮されている。 ・「心の歌」の「作詞者の言葉」では、作詞者が歌詞で描いた情景や思いが示され、我が国の自然や四季を想像しながら表現することができるように配慮されている。
⑤ 現代的な諸課 題への対応や 各教科等との 関連	・「ルールを守って音楽を楽しもう！」では、音楽を利用する際に留意することが掲載され、著作者や演奏者などの権利を尊重する態度を育むことができるように配慮されている。 ・「生活や社会の中の音や音楽」では、音楽に関わる仕事とSDGsとの関連が紹介され、生活や社会の中で音や音楽が果たす役割に気付くことができるように配慮されている。
⑥ 系統的・発展 的な内容等の 構成・配列	・「深めよう！」では、既習の内容を活用した学習活動が段階を踏んで設定され、系統的かつ発展的に学習内容が配列されている。
⑦ 生徒の発達の 段階に適した 本文の内容、 挿絵等の扱い、 印刷・製本	・学習内容と関連したデジタルコンテンツを見ることができる箇所には、二次元コードとともに内容が記載され、個に応じた学習を行うことができるように配慮されている。

音 楽

〔音楽（器楽合奏）〕

教 出 中学器楽 音楽のおくりもの

教 芸 中学生の器楽

教科	音楽	種目	音楽(器楽合奏)	発行者	教出
----	----	----	----------	-----	----

観 点	特 徴 ・ 特 記 す べ き 事 項
① 知識や技能の 習得の工夫	・ 楽器ごとに、楽器の奏法や身体の使い方が具体的に示され、演奏に必要な技能を身に付けることができるように配慮されている。 ・ 巻末の「いろいろな用語、記号」では、用語や記号がまとめられ、読譜の理解を深めることができるように配慮されている。 ・ リコーダーの楽譜とともに運指図が掲載され、また、巻末に「打楽器の奏法」、「リコーダー運指表」、「ギター&キーボードコード表」が示され、音楽活動を通して知識や技能を身に付けることができるように配慮されている。
② 思考力・判断 力・表現力等 を育む工夫	・ 「表現の仕方を調べてみよう」では、各楽器の特徴や奏法を捉える活動が示され、音楽表現の共通性と固有性を考えることができるように配慮されている。 ・ 題材ごとに「まとめの曲」が設けられ、身に付けた技能を生かしながら表現を工夫することができるように配慮されている。
③ 自主的、自発 的な学習を促 す工夫	・ 「音のスケッチ」では、協働して曲の構成を工夫し、発表する活動が設けられ、学び合いながら創作活動を行うことができるように配慮されている。 ・ 「Let's Try!」、「名曲旋律集」では、既習を生かして表現を工夫することができる教材が掲載され、主体的に学習に取り組むことができるように配慮されている。
④ 伝統と文化を 尊重する態度、 道徳性などを 養う工夫	・ 和楽器を取り上げたページでは、演奏するときの姿勢や身体の使い方について、名手からのメッセージが掲載され、我が国の伝統や文化を尊重することができるように配慮されている。
⑤ 現代的な諸課 題への対応や 各教科等との 関連	・ 巻頭の「音楽のチカラで人と社会を未来へつなぐ」では、ストリートピアノが紹介され、人と人とのつながりを生み出す音楽の力に気付くことができるように配慮されている。
⑥ 系統的・発展 的な内容等の 構成・配列	・ 「+深めてみよう」では、発展的な教材が扱われ、技能の習熟を図ることができるように配慮されている。 ・ 「発展」のマークが付された教材では、世界の楽器の背景にある文化や伝統について調べたり、楽器と形の関係について考えたりする活動が設けられ、音楽文化について理解を深めることができるように配慮されている。
⑦ 生徒の発達の 段階に適した 本文の内容、 挿絵等の扱い、 印刷・製本	・ 学習内容と関連したデジタルコンテンツを見ることができる箇所には、マーク入りの二次元コードが掲載され、個に応じた学習を行うことができるように配慮されている。

教科	音楽	種目	音楽(器楽合奏)	発行者	教 芸
----	----	----	----------	-----	-----

観 点	特 徴 ・ 特 記 す べ き 事 項
① 知識や技能の 習得の工夫	・「音楽の約束」では、用語や記号がまとめられ、読譜の理解を深めることができるように配慮されている。 ・Q&Aやコラムでは、楽器の音色や響きと奏法の関わりへの気付きを促す内容が取り上げられ、音楽活動を通して知識や技能を身に付けることができるように配慮されている。 ・「リコーダー運指表」や、指の絵とともに示した「ギター／キーボード コード表」が掲載され、音楽活動を通して知識や技能を身に付けることができるように配慮されている。
② 思考力・判断 力・表現力等 を育む工夫	・各教材では、学習目標とともに音楽を形づくっている要素と学習のポイントとなる問いが示され、音楽的な見方・考え方を働かせながら音楽表現を創意工夫することができるように配慮されている。 ・「学びのコンパス」では、音楽を形づくっている要素が示され、音楽的な見方・考え方を働かせながら表現の仕方を工夫することができるように配慮されている。
③ 自主的、自発 的な学習を促 す工夫	・「My Melody」では、課題や条件が示され、創作の見通しをもつことができるように配慮されている。 ・「太鼓」、「篠笛」では、練習の手順が示され、見通しをもちながら段階を踏んで学習に取り組むことができるように配慮されている。
④ 伝統と文化を 尊重する態度、 道徳性などを 養う工夫	・和楽器を取り上げたページでは、それぞれの楽器の奏法や日本の音階、幅広い表現の魅力を伝える名手からのメッセージが掲載され、我が国の伝統や文化を尊重することができるように配慮されている。
⑤ 現代的な諸課 題への対応や 各教科等との 関連	・「伝統の枠を超えて活躍する和楽器」では、和楽器とそれ以外の楽器との共演が紹介され、音楽のジャンルを超えた共演に興味・関心をもつことができるように配慮されている。
⑥ 系統的・発展 的な内容等の 構成・配列	・「吹いてみよう」では、アルトリコーダーとソプラノリコーダーの2パターンが示され、生徒の実態に応じて選曲することができるように配慮されている。 ・「アンサンブル」、「楽器でMelody」では、多彩なジャンルの音楽が掲載され、習得した知識や技能を生かして発展的な学習をすることができるように構成されている。
⑦ 生徒の発達の 段階に適した 本文の内容、 挿絵等の扱い、 印刷・製本	・学習内容と関連したデジタルコンテンツを見ることができる箇所には、二次元コードと内容が示され、個に応じた学習を行うことができるように配慮されている。

美術

〔 美術 〕

開隆堂	美術 1、美術 2・3
光 村	美術 1、美術 1 資料、美術 2・3
日 文	美術 1 美術との出会い、 美術 2・3 上 学びの実感と深まり、 美術 2・3 下 学びの探求と未来

教科	美術	種目	美術	発行者	開隆堂
----	----	----	----	-----	-----

観 点	特 徴 ・ 特 記 す べ き 事 項
① 知識や技能の 習得の工夫	・「学びの資料」では、題材に対応した知識や技能等がまとめられ、関連するページにはリンクがマークで示されており、必要に応じて活用できるように配慮されている。 ・学習内容に関連した「美術の用語」では、美術に関する用語とともに解説が記されており、鑑賞や表現の学習活動の理解を深めることができるように配慮されている。
② 思考力・判断 力・表現力等 を育む工夫	・「作者のことば」では、作者の言葉が作品とともに掲載されており、発想や構想、表現方法の手掛かりとなるように配慮されている。 ・1年の「発想・構想のヒント」では、作家の制作現場やアイデアが生まれる過程が取り上げられており、発想や構想、表現をする時の手掛かりとなるように配慮されている。
③ 自主的、自発 的な学習を促 す工夫	・キャラクターの吹き出しでは、発想や構想の方法、鑑賞の学習の進め方が示されており、主体的に学習に取り組むことができるように配慮されている。 ・「知識・技能」、「発想・構想」、「鑑賞」には、身に付けるべき資質・能力が分かる小見出しが示されており、課題意識をもって活動できるように配慮されている。
④ 伝統と文化を 尊重する態度、 道徳性などを 養う工夫	・日本各地の様々な郷土の造形や、「国宝」、「重文」のマークを付した作品が掲載されており、郷土に対する愛情や伝統文化についての理解を深めることができるように配慮されている。
⑤ 現代的な諸課 題への対応や 各教科等との 関連	・「ずっと木といっしょに」、「鑑賞ってなんだろう」等では、様々な教科の学習と関連付ける題材が掲載されており、教科等横断的な学習ができるように配慮されている。 ・2・3年「持続可能な未来へ」やSDGsに関する造形的な取組を紹介するコーナーが設けられており、美術が豊かな社会の創造につながっていることが意識できるように配慮されている。
⑥ 系統的・発展 的な内容等の 構成・配列	・1年「図画工作から美術へ」では、小学校図画工作科から中学校美術科の学習への関連について示されており、美術科の学習への意欲を高めることができるように配慮されている。
⑦ 生徒の発達の 段階に適した 本文の内容、 挿絵等の扱い、 印刷・製本	・鑑賞する題材では、作品の一部を拡大したものや原寸大の図版が掲載されていたり、対話をしながら鑑賞できるように折込みページが設けられたりしている。 ・各題材名の上に、学習場面に応じて活用できるデジタルコンテンツの二次元コードが掲載されている。

教科	美術	種目	美術	発行者	光村
----	----	----	----	-----	----

観 点	特 徴 ・ 特 記 す べ き 事 項
① 知識や技能の 習得の工夫	・別冊資料では、基本的な用具の使い方や技法等がまとめられ、教科書の関連ページ右端には別冊へのリンクが示されており、3年間を通じて活用できるように配慮されている。 ・「POINT」では、形や色彩、材料、光等の共通事項を意識した問いかけが示されており、作品への見方や感じ方を深めることができるように配慮されている。
② 思考力・判断 力・表現力等 を育む工夫	・「作者の言葉」では、制作意図が作品とともに掲載されており、発想や構想をしたり、主題を生み出したりするときの手掛かりとなるように配慮されている。 ・「みんなの工夫」では、表現していく過程が吹き出しや写真とともに紹介されており、発想や構想、表現をするときの手掛かりとなるように配慮されている。
③ 自主的、自発 的な学習を促 す工夫	・4ページ以上にわたる題材では、鑑賞→表現→鑑賞という構成になっており、表現と鑑賞を相互に関連付けながら、主体的に学習できるように配慮されている。 ・1年、2・3年巻頭、及び2・3年巻末では、谷川俊太郎による詩「うつくしい！」が掲載されており、心情に訴える言葉により、主体的に学習に取り組めるように配慮されている。
④ 伝統と文化を 尊重する態度、 道徳性などを 養う工夫	・47都道府県の伝統工芸や国内の世界文化遺産、「国宝」と付した文化財が掲載されており、郷土への愛着や日本の伝統文化への理解を深めることができるように配慮されている。
⑤ 現代的な諸課 題への対応や 各教科等との 関連	・他教科との関連が深い題材では、「コラム」が設けられており、美術の学びと他教科の学びのつながりが具体的に示されている。 ・2・3年「私たちに問かける美術」やSDGsに関連する題材では、美術が持続可能な社会へ果たす役割について考えられるように配慮されている。
⑥ 系統的・発展 的な内容等の 構成・配列	・絵や彫刻、デザインや工芸の表現や鑑賞の題材では、学年間の系統性や発展性を意図したつながりのある題材が複数取り上げられており、学習の深まりが図られている。
⑦ 生徒の発達の 段階に適した 本文の内容、 挿絵等の扱い、 印刷・製本	・鑑賞する題材では、屏風のように立てられる仕組みを作ったり、原寸大の図版や風合いのある用紙を使ったりすることができるページが設けられており、より本物に近い感覚で鑑賞することができるように配慮されている。 ・「体感ミュージアム」では、作品を多角的な視点で鑑賞することができるように、二次元コードとともにデジタルコンテンツの内容が示されている。

教科	美術	種目	美術	発行者	日 文
----	----	----	----	-----	-----

観 点	特 徴 ・ 特 記 す べ き 事 項
① 知識や技能の 習得の工夫	・「学びを支える資料」では、基本的な材料や用具の取扱い等についてまとめられており、基礎的・基本的な技能が習得できるように配慮されている。 ・「造形的な視点」では、共通事項に着目して造形的な見方・考え方を働かせることができるように、「鑑賞の入り口」での問いかけに対するヒントが示されている。
② 思考力・判断 力・表現力等 を育む工夫	・「鑑賞の入り口」では、題材で作品を鑑賞する際の主発問が示されており、造形的な見方・考え方に気付くことができるように配慮されている。 ・「表現のヒント」では、アイデアスケッチや制作過程などの写真が示されており、思考の手掛かりになるように配慮されている。
③ 自主的、自発 的な学習を促 す工夫	・全題材の主文では、学習の主旨が示されており、見通しをもち、主体的に学習に取り組むことができるように配慮されている。 ・巻頭ページ等では、多方面で活躍する著名人の言葉が紹介されており、美術への興味・関心をもち、美術の学びを将来に生かしていくことができるように配慮されている。
④ 伝統と文化を 尊重する態度、 道徳性などを 養う工夫	・伝統文化や工芸に関する作品が題材として取り上げられ、「国宝」や「重要文化財」にはマークが付されており、伝統文化についての理解を深めることができるように配慮されている。
⑤ 現代的な諸課 題への対応や 各教科等との 関連	・「暮らしを彩る土の造形」、「文字が生み出すイメージ」等の題材では、他教科等との関連を図った事例や題材が取り上げられており、学びの広がりや知識のつながりを意識できるように配慮されている。 ・SDGsに関わる題材では、関連するSDGsのゴールが示され、美術科との関わりを通して、持続可能な社会の創り手として、考えを深めることができるように配慮されている。
⑥ 系統的・発展 的な内容等の 構成・配列	・3分冊構成にすることで、発達の段階に応じたねらいや内容の題材が明確に示されており、系統的・発展的に学習できるように配慮されている。
⑦ 生徒の発達の 段階に適した 本文の内容、 挿絵等の扱い、 印刷・製本	・鑑賞の題材では、実物に近い色味と刷りが再現された図版や原寸大の図版、折って立てられる仕掛け等により、実物の作品鑑賞に近い体験ができるように配慮されている。 ・「学びのはじめに」として、主文と連動したデジタルコンテンツへの二次元コードが全題材に示されている。

保健体育

〔保健体育〕

東 書 新編 新しい保健体育

大日本 中学校保健体育

大修館 最新 中学校保健体育

学 研 新・中学保健体育

※大日本の記載内容については、「令和3～6年度使用中学校用教科書石川県教科用図書選定資料」に収録されているものと同じである。

教科	保健体育	種目	保健体育	発行者	東 書
----	------	----	------	-----	-----

観 点	特 徴 ・ 特 記 す べ き 事 項
① 知識や技能の 習得の工夫	・「巻末スキルブック」では、命や健康を守るために必要なスキルについて、イラストや写真で分かりやすくまとめられており、基礎的・基本的な知識や技能の習得につながるように配慮されている。
② 思考力・判断 力・表現力等 を育む工夫	・「？」マークが付された箇所では、資料を基にした発問が設定されており、考えたり話し合ったりする過程を通して、思考力・判断力・表現力等を高めることができるように配慮されている。 ・「活用する」では、習得した知識や技能を活用してより深く考えたり、自分の言葉で説明したりする活動が設定されており、思考を深めることができるように配慮されている。
③ 自主的、自発 的な学習を促 す工夫	・「見つける」では、自己の課題発見につなげるための発問が設定されており、学習課題を自分ごととして捉え、主体的に課題解決に取り組むことができるように配慮されている。 ・「広げる」では、学習したことを自他の生活に当てはめて考えたり、関連する内容を更に調べたりする学習活動が設定されており、日常生活との関連が実感できるように配慮されている。 ・「保健体育の学習方法」では、学習方法が分かりやすく提示されており、自発的に学習に取り組むことができるように構成されている。
④ 伝統と文化を 尊重する態度、 道徳性などを 養う工夫	・「読み物」では、道徳科の学習に関連した内容が取り上げられており、国際理解や遵法精神、公德心等について考えることができるように配慮されている。
⑤ 現代的な諸課 題への対応や 各教科等との 関連	・他教科の学習内容との関連がマークとともに示されており、教科等横断的な学習ができるように配慮されている。 ・口絵や章末資料では、SDGsやテクノロジーの進化、情報の活用等、今日的課題が取り上げられており、現代的な諸課題への関心が高まるように配慮されている。
⑥ 系統的・発展 的な内容等の 構成・配列	・「発展」では、学習内容と関連した発展的な学習が取り上げられており、学びを深めたり広げたりすることができるように配慮されている。
⑦ 生徒の発達の 段階に適した 本文の内容、 挿絵等の扱い、 印刷・製本	・本文と資料が罫線で区別されており、読みやすいデザインとなるように配慮されている。 ・二次元コードの配置が統一され、学習内容と関連したウェブコンテンツを見ることができる箇所には「Dマーク」が示されており、活用しやすいように配慮されている。

教 科	保健体育	種 目	保健体育	発行者	大日本
-----	------	-----	------	-----	-----

観 点	特 徴 ・ 特 記 す べ き 事 項
① 知識や技能の 習得の工夫	・ 章末の「学習のまとめ」には、学習用語をまとめた「重要な言葉」とそれらの解説が示されており、より詳しく理解できるように配慮されている。 ・ 心肺蘇生法の「実習」については、折込みのページに、一連の手順が大きな写真と合わせて詳細に掲載されている。
② 思考力・判断 力・表現力等 を育む工夫	・ 「話し合ってみよう」、「やってみよう」、「調べてみよう」では、本文や資料を活用して課題解決的な学習を進めることができるように配慮されている。 ・ 「活用して深めよう」では、学習したことを活用して考えを深められるような視点が示されている。
③ 自主的、自発 的な学習を促 す工夫	・ 「つかもう」では、生徒の身近な題材が取り上げられており、当事者意識をもって課題を捉えることができるように配慮されている。 ・ 「家」マークや「地域」マークが示されており、家庭や地域において、保健体育で学習したことを活用できるように配慮されている。
④ 伝統と文化を 尊重する態度、 道徳性などを 養う工夫	・ 生命の尊さや国際理解、国際貢献に関する内容が、「資料」や「章末資料」に掲載されている。
⑤ 現代的な諸課 題への対応や 各教科等との 関連	・ 「口絵」では、情報活用能力や食事の重要性など、中学生にとって身近な話題が取り上げられている。 ・ 「他教科」マークでは、本章の学習と関連のある社会科、理科、技術・家庭科の学習内容が示されている。
⑥ 系統的・発展 的な内容等の 構成・配列	・ 章の扉には、小学校、中学校、高等学校で学習する内容と、その系統性が示されている。 ・ 学習内容と関連する発展的な資料には「発展」マークが示されており、興味・関心に応じて学習できるように配慮されている。
⑦ 生徒の発達の 段階に適した 本文の内容、 挿絵等の扱い 印刷・製本	・ ウェブページのURL及び二次元コードが、巻頭に記載され、学習内容と関連したウェブコンテンツを見ることができる箇所には、「WEB」マークが示されている。

教科	保健体育	種目	保健体育	発行者	大修館
----	------	----	------	-----	-----

観 点	特 徴 ・ 特 記 す べ き 事 項
① 知識や技能の 習得の工夫	・ 章末の「知識・技能」では、学習内容の定着が確認できるような問題が設定されており、基礎的・基本的な知識や技能の習得につながるように配慮されている。 ・ 「用語解説」では、学習する上で重要な用語とその用語の意味が詳しく示されており、基礎的・基本的な知識の定着が図られるように配慮されている。
② 思考力・判断 力・表現力等 を育む工夫	・ 「学習のまとめ」では、自分の生活と関連付けて考える課題が設定されており、学びを深めることができるように配慮されている。 ・ 章末の「思考・判断・表現」では、学んだことを活用して考えたり、説明したりする問題が取り上げられており、身に付けた知識や技能を活用して課題解決する力を育むことができるように配慮されている。
③ 自主的、自発 的な学習を促 す工夫	・ 「課題をつかむ」では、学習課題につながる気付きや思考を促す多様な導入発問が示されており、興味・関心をもって学ぶことができるように配慮されている。 ・ 「ほりさげる」では、学習を広げたり深めたりするために参考となる情報が取り上げられており、興味・関心を高め、主体的な学習が促されるように配慮されている。
④ 伝統と文化を 尊重する態度、 道徳性などを 養う工夫	・ 「コラム」では、道徳科の内容項目と関連した読み物が掲載されており、相互理解、寛容・遵法精神、公德心、生命の尊さ等について考えることができるように配慮されている。
⑤ 現代的な諸課 題への対応や 各教科等との 関連	・ がんに関する学習では、がんのリスクやがん検診の種類等の内容が2単位時間設定されており、現代的な諸課題について学ぶことができるように配慮されている。 ・ 巻頭に「口絵」として、共生社会や持続可能な社会等が取り上げられており、現代的な諸課題との関連が図られている。
⑥ 系統的・発展 的な内容等の 構成・配列	・ 「特集資料」では、学習したことをさらに広げたり深めたりするための資料が掲載されており、発展的な学習に取り組むことができるように配慮されている。
⑦ 生徒の発達の 段階に適した 本文の内容、 挿絵等の扱い、 印刷・製本	・ 導入の発問やまとめ、資料が罫線で囲まれ、本文とはっきり区別できるようにレイアウトされており、学習しやすいように配慮されている。

教 科	保健体育	種 目	保健体育	発行者	学 研
-----	------	-----	------	-----	-----

観 点	特 徴 ・ 特 記 す べ き 事 項
① 知識や技能の 習得の工夫	・「章のまとめ」では、章で学んだキーワードとその該当ページが示されるとともに、学習内容を確認できる問題が設定されており、基礎的・基本的な知識や技能の定着が図られている。 ・「心肺蘇生法の実習」では、手当の仕方の要点を押さえるだけでなく、ペアやグループで互いに見る視点をチェックできる欄が設けられており、心肺蘇生法の技能が習得できるように配慮されている。
② 思考力・判断 力・表現力等 を育む工夫	・「エクササイズ」では、学習した知識や技能を基に考えたり話し合ったり、調べたりする活動が設定されており、対話的な学びの充実につながるように配慮されている。 ・「見方・考え方」では、思考や話し合いの場面において意識させたい視点が示されており、保健の見方・考え方を働かせて思考を深めることができるように配慮されている。
③ 自主的、自発 的な学習を促 す工夫	・章末の「生活への活用」や「1、2年の学習の終わりに」では、さらに考えてみたいことや自分自身の生活に生かしたいことを記述する欄が設けられており、主体的な学習が促されるように配慮されている。 ・「探究マーク」は、「探究しようよ！」に繋がるガイドとなっており、興味・関心に応じて学習を進めることができるように配慮されている。
④ 伝統と文化を 尊重する態度、 道徳性などを 養う工夫	・「ひと・もの・こと」では、道徳科の内容項目と関連した読み物が掲載されており、人間の生き方や自分自身に関すること等について考えることができるように配慮されている。
⑤ 現代的な諸課 題への対応や 各教科等との 関連	・「JOB」では、学習内容に関係のある職業が紙面左下に取り上げられており、キャリア教育との関連が図られている。
⑥ 系統的・発展 的な内容等の 構成・配列	・「探究しようよ！」では、学習内容に沿った探究課題が取り上げられており、発展的な学習に取り組めるように配慮されている。
⑦ 生徒の発達の 段階に適した 本文の内容、 挿絵等の扱い、 印刷・製本	・章の扉が見開きのページ構成となっており、学習内容に関連した写真や資料が随所に取り上げられており、学習のイメージをもちやすいように配慮されている。 ・全体的にユニバーサルデザインフォントが使用され、本文の書体にはUDデジタル教科書体が用いられており、見やすく、読みまちがいが起こりにくいように配慮されている。

技術・家庭

〔技術・家庭(技術分野)〕

東 書 新編 新しい技術・家庭 技術分野
未来を創る Technology

教 図 新 技術・家庭 技術分野
明日を創造する
New 技術・家庭 技術分野
明日を創造する スキルアシスト

開隆堂 技術・家庭 技術分野
テクノロジーに希望をのせて

教科	技術・家庭	種目	技術・家庭（技術分野）	発行者	東 書
----	-------	----	-------------	-----	-----

観 点	特 徴 ・ 特 記 す べ き 事 項
① 知識や技能の 習得の工夫	・「TECHLab」、「やってみよう」では、問題解決に必要な作業の手順や道具の使い方が示され、基礎的・基本的な知識や技能を習得することができるように配慮されている。 ・「技術のとびら」では、本文の内容を裏付ける図や表が示され、科学的な原理・法則や基礎的な技術の仕組みを理解することができるように配慮されている。 ・「+安全」マーク、「+衛生」マークが付された箇所では、問題解決を安全に行うための注意喚起が示され、安全に気を付けながら学習できるように配慮されている。
② 思考力・判断 力・表現力等 を育む工夫	・「問題解決例」では、活動の流れが統一された形で示され、見通しをもって問題解決に取り組むことができるように配慮されている。 ・巻頭の「技術分野のガイダンス」に設けられた「技術のめがね」、「最適化の窓」では、技術に込められた工夫や様々な視点の折り合いの付け方が示され、技術の見方・考え方を働かせながら考えを深めることができるように配慮されている。 ・「未来の Technology」では、持続可能な社会に向けて考察するワークシートが示され、技術を評価し、活用する力を身に付けることができるように配慮されている。
③ 自主的、自発 的な学習を促 す工夫	・節ごとの「学習課題」では、学習内容が具体的に示され、主体的に学習を進めることができるように配慮されている。 ・「考えてみよう」、「やってみよう」、「調べてみよう」、「話し合ってみよう」では、具体的な活動が示され、主体的に調べたり、他者と協働して比較・検討したりすることで、学びを深めることができるように配慮されている。
④ 伝統と文化を 尊重する態度、 道徳性などを 養う工夫	・「伝統文化」マークが付された箇所では、伝統的なものづくりについて示され、我が国の伝統や文化を支えてきた技術に気付くことができるように配慮されている。
⑤ 現代的な諸課 題への対応や 各教科等との 関連	・「SDGs と Technology」では、持続可能な開発目標について技術が果たしている役割が示され、持続可能な社会の構築に寄与する態度が育成できるように配慮されている。
⑥ 系統的・発展 的な内容等の 構成・配列	・「技術の匠」では、技術分野の学習に関係の深い仕事に就いている人たちからのメッセージが紹介され、勤労観、職業観を育むことができるように配慮されている。
⑦ 生徒の発達の 段階に適した 本文の内容、 挿絵等の扱い、 印刷・製本	・二次元コードが、全ての見開きページの右上に配置され、学習の進度や興味・関心に合わせて、デジタルコンテンツを活用することができるように配慮されている。

教科	技術・家庭	種目	技術・家庭（技術分野）	発行者	教 図
----	-------	----	-------------	-----	-----

観 点	特 徴 ・ 特 記 す べ き 事 項
① 知識や技能の 習得の工夫	・各編の2章に設けられた「技能チェック」では、作業の手順を自らチェックできる欄が示され、基礎的・基本的な知識や技能の習得が図られている。 ・活動場所に持ち出せるようにした別冊「スキルアシスト」では、活動に必要な技能が写真とともに示され、自分の動きと比較し、確認しながら学習することができるように配慮されている。 ・各編の2章に設けられた「プチ問題解決」では、易しい製作の題材等が紹介され、問題解決に必要な基礎的・基本的な知識や技能の習得が図られている。
② 思考力・判断 力・表現力等 を育む工夫	・各編の2章の最初に掲載された「問題を解決する流れ」では、問題解決の流れが4コマ漫画で示され、技術による問題解決に段階的に取り組むことができるように配慮されている。 ・「設計」のページには、設計・計画シート及び計画・育成シートの記入例が示され、「プチ問題解決」での経験を生かし、設計・計画に取り組むことができるように配慮されている。
③ 自主的、自発 的な学習を促 す工夫	・「やってみよう」では、技術の工夫や最適化についての実験例やレポート例が示され、技術を工夫し、創造しようとする実践的な態度を身に付けることができるように配慮されている。 ・各節の最後には、めあてに対応した「ふり返る」が設けられ、学びを自己評価することができるように配慮されている。 ・「スゴ技」や「技ビト」では、生活や社会の中で使用される技術が示され、興味・関心が引き出されるように配慮されている。
④ 伝統と文化を 尊重する態度、 道徳性などを 養う工夫	・「伝統文化」マークが付された箇所では、木造建築や木材の伝統的な接合技術等が示され、我が国の伝統や文化を継承していくことの大切さに気付くことができるように配慮されている。
⑤ 現代的な諸課 題への対応や 各教科等との 関連	・「共生」、「防災」、「環境」等、今日的な課題に対応したマークが付された箇所では、社会や生活の問題と技術との関わりが示され、生徒が持続可能な社会の構築や環境問題について考えることができるように配慮されている。
⑥ 系統的・発展 的な内容等の 構成・配列	・「先輩からのメッセージ」では、高等学校で専門的な学習に取り組む先輩が紹介され、自分の将来について考えることができるように配慮されている。
⑦ 生徒の発達の 段階に適した 本文の内容、 挿絵等の扱い、 印刷・製本	・二次元コードとともに、そこからつながるデジタルコンテンツの内容が示され、活用しやすいように配慮されている。

教科	技術・家庭	種目	技術・家庭（技術分野）	発行者	開隆堂
----	-------	----	-------------	-----	-----

観 点	特 徴 ・ 特 記 す べ き 事 項
① 知識や技能の 習得の工夫	・「実験」では、科学的な根拠を確かめるための実験や観察、技能を習得するための演習が示され、基礎的・基本的な知識や技能が実感を伴って理解できるように配慮されている。 ・「学習のまとめ」では、学習内容に関する問いが設けられ、科学的な原理・法則や基礎的な技術の仕組みについての理解度を確認できるように配慮されている。
② 思考力・判断 力・表現力等 を育む工夫	・「身の回りの技術に気づこう」、「製品を見てみよう」では、最適化についての視点と具体例が示され、自ら問題を発見し、課題を設定できるように配慮されている。 ・巻頭の「ガイダンス」では、技術の見方・考え方に気付くための視点が示され、その視点で各内容を学習することで、技術の見方・考え方が深まる学習過程となるように配慮されている。 ・技術の仕組みを考えるためのワークシートや、問題解決の振り返りのシートでは、社会やこれからの技術に視点を広げる活動が示され、技術の見方・考え方を深めることができるように配慮されている。
③ 自主的、自発 的な学習を促 す工夫	・「問題解決の流れ」には、イラストや吹き出しとともに学習過程が示され、見通しをもって問題解決できるように配慮されている。 ・「学習課題」には、学習の目標を達成するための効果的な取組が示され、学習意欲を高めることができるように配慮されている。 ・「CHECK」では、学習目標に対応した確認項目が設けられ、学びを自己評価することができるように配慮されている。
④ 伝統と文化を 尊重する態度、 道徳性などを 養う工夫	・各編で、日本の伝統的な技術や日本で生まれた技術が紹介され、伝統を継承し、技術革新を牽引する態度の育成につながるように配慮されている。
⑤ 現代的な諸課 題への対応や 各教科等との 関連	・デジタル・シティズンシップなど、これからの技術と生活や社会との関わりについて考える題材が取り上げられ、持続可能な社会の担い手として技術に関心や課題意識をもつことができるように配慮されている。
⑥ 系統的・発展 的な内容等の 構成・配列	・「interview」や「開発の現場から」では、技術分野の仕事に携わる人物が紹介され、職業への理解を通して、職業観や勤労観を育むことができるように配慮されている。
⑦ 生徒の発達の 段階に適した 本文の内容、 挿絵等の扱い、 印刷・製本	・目次ページに設けられた二次元コードからも、各学習内容のデジタルコンテンツが閲覧でき、見通しをもって活用できるように配慮されている。

技術・家庭

〔技術・家庭(家庭分野)〕

東 書 新編 新しい技術・家庭 家庭分野
自立と共生を目指して

教 図 新 技術・家庭 家庭分野
暮らしを創造する

開隆堂 技術・家庭 家庭分野
自立しともに支え合う生活へ

教科	技術・家庭	種目	技術・家庭（家庭分野）	発行者	東 書
----	-------	----	-------------	-----	-----

観 点	特 徴 ・ 特 記 す べ き 事 項
① 知識や技能の 習得の工夫	・「いつも確かめよう」では、衣生活や食生活に関する基礎的・基本的な知識や技能についてまとめられ、必要に応じて確認することができるように配慮されている。 ・各編末の「学習のまとめ」では、各内容でよく使われる用語とその記載ページがまとめて示され、必要なときに見直し、活用できるように配慮されている。
② 思考力・判断 力・表現力等 を育む工夫	・「レッツスタート」には、思考を促す問いや思考ツールの活用例が示され、視点を明確にして考えを広げたり深めたりできるように配慮されている。 ・キャラクター「ミカッタ」の吹き出しでは、思考を促す視点が示され、生活の営みに係る見方・考え方を働かせながら課題に取り組むことができるように配慮されている。
③ 自主的、自発 的な学習を促 す工夫	・節ごとに学習課題が設定され、課題解決に向けて主体的に学習を進めることができるように配慮されている。 ・「生活の課題と実践」では、取組の実践例が複数示され、自分なりの課題を見付け、実践することができるように配慮されている。 ・各編の「生活に生かそう」では、できるようになるまで取り組んだことや生活に生かしたいこと等について、自らの学びを振り返り実生活に生かせるように配慮されている。
④ 伝統と文化を 尊重する態度、 道徳性などを 養う工夫	・日本の文様や郷土料理、地域の食材等が「伝統文化」マークとともに写真で紹介され、日常生活の中で日本の伝統が受け継がれていることに気付くことができるように配慮されている。
⑤ 現代的な諸課 題への対応や 各教科等との 関連	・各編末には、持続可能な社会の構築に向けた章が設けられ、SDG s の目標達成に寄与する態度が育成されるように配慮されている。
⑥ 系統的・発展 的な内容等の 構成・配列	・「プロに聞く！」では、家庭分野の内容に携わる職業に就く人たちのメッセージが取り上げられ、仕事の楽しさや生き方を考えることができるように配慮されている。 ・「衣食住の生活」に関する基本的な内容は教科書の前半に、「消費生活と環境」、「家族・幼児や高齢者」等に関する内容は教科書の後半に位置付けられ、発達の段階に応じて学習を進めることができるように構成されている。
⑦ 生徒の発達の 段階に適した 本文の内容、 挿絵等の扱い、 印刷・製本	・二次元コードが、全ての見開きページの右上に配置されており、学習の進度や興味・関心に合わせて、デジタルコンテンツを活用することができるように配慮されている。

教科	技術・家庭	種目	技術・家庭（家庭分野）	発行者	教 図
----	-------	----	-------------	-----	-----

観 点	特 徴 ・ 特 記 す べ き 事 項
① 知識や技能の 習得の工夫	・「ふり返る」では、学習内容を確認する欄と身に付けたことを自分の言葉でまとめる欄が設けられ、基礎的・基本的な知識の定着が図られている。 ・調理実習例のすべての材料に6つの食品群のマークが記載され、栄養や献立の学習を想起しながら学習が進められるように配慮されている。 ・学習内容ごとのキーワードが、めあての下に記載され、学習内容に関連する重要な語句を確認できるように配慮されている。
② 思考力・判断 力・表現力等 を育む工夫	・各編に設定されている「自立度チェック」を通して、自分の現在の状況を確認し、学習前と学習後を比較しながら考えることができるように配慮されている。 ・各章の導入に設けられた「見つめる」と「見つめてみよう」では、学習内容に関連する気付きや疑問が示され、課題意識をもって学習に取り組むことができるように配慮されている。
③ 自主的、自発 的な学習を促 す工夫	・「学習の振り返り」では、学んでよかったことやもっと調べてみたいこと等について、自分の言葉でまとめ、家庭や地域での実践につなげることができるように配慮されている。 ・「学びを生かそう」では、これまでに学習したことを基に身近な生活の課題に取り組むことができるような問いが設けられ、主体的な学習につながるように配慮されている。
④ 伝統と文化を 尊重する態度、 道徳性などを 養う工夫	・「年中行事と私たちの暮らしのつながり」では、日本の伝統的な年中行事や行事食等が写真やイラストで紹介され、我が国の文化と先人の工夫に気付くことができるように配慮されている。
⑤ 現代的な諸課 題への対応や 各教科等との 関連	・「資料」や「参考」マークが付された箇所では、環境、エシカル、フェアトレード等、SDGsに関する資料が示され、現代的な諸課題について考えることができるように配慮されている。 ・「センパイに聞こう！」や「メッセージ」では、様々な分野で活躍する人や中学生からのメッセージが紹介され、仕事の楽しさや生き方を考えることができるように配慮されている。
⑥ 系統的・発展 的な内容等の 構成・配列	・巻頭のガイダンスにおいて、各分野のつながりや自分と人とのつながり、社会とのつながりが、写真やイラストとともに紹介され、見通しや系統性を意識しながら学習を進めることができるように配慮されている。
⑦ 生徒の発達の 段階に適した 本文の内容、 挿絵等の扱い、 印刷・製本	・二次元コードとともに、そこからつながるデジタルコンテンツの内容が示され、活用しやすいように配慮されている。

教科	技術・家庭	種目	技術・家庭（家庭分野）	発行者	開隆堂
----	-------	----	-------------	-----	-----

観 点	特 徴 ・ 特 記 す べ き 事 項
① 知識や技能の 習得の工夫	・「調理方法Q&A」では、調理を行う際に生徒が疑問に感じるポイントについて「なぜそのようなになっているのか」が問いとして設けられ、科学的根拠に基づいて理解できるように配慮されている。 ・「豆知識」の項目が設けられ、基礎的な用語や家庭分野に関する言葉を確認しながら学習を進めることができるように配慮されている。 ・肉・魚や野菜、おやつ等の蒸し料理の調理例が多く取り上げられ、材料に適した加熱の仕方について理解できるように配慮されている。
② 思考力・判断 力・表現力等 を育む工夫	・「考えてみよう」、「話し合ってみよう」等では、生活に関する課題が設定され、解決方法を検討し、計画・立案する力を育成することができるように配慮されている。 ・キャラクターを用いて、題材に関する問いや、つまづきやすい内容についての注意が示されており、思考を促すように配慮されている。
③ 自主的、自発 的な学習を促 す工夫	・「学習のまとめ」では、もっと知りたいことや深く考えてみたいことについて記述する欄が設けられ、主体的に学習を発展させたり広げたりできるように配慮されている。 ・「生活と課題の実践」では、興味・関心、疑問等に応じた数種類の実践例が紹介され、自分の生活と照らし合わせながら実践的な課題に取り組むことができるように配慮されている。
④ 伝統と文化を 尊重する態度、 道徳性などを 養う工夫	・「伝統文化」マークを付した箇所では、郷土料理や行事食、和服等について写真とともに取り上げられ、我が国の文化と先人の工夫に気付くことができるように配慮されている。
⑤ 現代的な諸課 題への対応や 各教科等との 関連	・特設ページ「私たちの防災」では、自然災害に備えた暮らしの事例が紹介され、過去の災害から学び、生活を見直し改善することができるように配慮されている。 ・「取り組み」マークを付した箇所では、学習内容に関連した実際の中学生の取組や地域の取組が取り上げられ、地域理解を深め、自分ごととして様々な課題に取り組んでいけるように配慮されている。
⑥ 系統的・発展 的な内容等の 構成・配列	・発展的な学習内容には「発展」マークが示され、興味・関心に応じて知識を広げることができるように配慮されている。
⑦ 生徒の発達の 段階に適した 本文の内容、 挿絵等の扱い、 印刷・製本	・1日にとりたい食品の分量や子供の手足の大きさについて、大きさの感覚をつかむことができるように実物大の写真が掲載されている。

外國語

〔 英 語 〕

東 書	NEW HORIZON English Course 1、2、3
開隆堂	Sunshine English Course 1、2、3
三省堂	NEW CROWN English Series 1、2、3
教 出	ONE WORLD English Course 1、2、3
光 村	Here We Go! ENGLISH COURSE 1、2、3
啓林館	BLUE SKY English Course 1、2、3

教科	外国語	種目	英語	発行者	東書
----	-----	----	----	-----	----

観 点	特 徴 ・ 特 記 す べ き 事 項
① 知識や技能の 習得の工夫	・各Part末の「Activity」では、学習した文法事項などを用いて表現する活動を繰り返し行うことで、基礎的・基本的な知識や技能を習得することができるように配慮されている。 ・各学年の「Grammar for Communication」では、言語材料の特徴やきまりを確認し、表現する活動が設定されており、言語材料を適切に使うことができるように配慮されている。
② 思考力・判断 力・表現力等 を育む工夫	・各学年の「Unit Activity」、「Stage Activity」では、目的や場面、状況に応じて自己表現する活動が設定されており、各Partで学習したことを活用できるように配慮されている。 ・各Unitの「Read and Think」では、概要を捉える活動やその内容について自分の意見を表現する活動が設定されており、思考力・判断力・表現力等が育成されるように配慮されている。
③ 自主的、自発 的な学習を促 す工夫	・巻末の「学習をふり返ろう－CAN-DO リスト－」には、小学校や高等学校の目標が示されており、学びのつながりを意識しながら学習できるように構成されている。 ・巻頭の「学び方コーナー」では、いつでも振り返ることができるように、学習のポイントやコツが掲載されており、自主的に学習することができるように配慮されている。
④ 伝統と文化を 尊重する態度、 道徳性などを 養う工夫	・他国へのランドセルの寄付やアフリカでの井戸づくりのような国際支援についての題材を扱う単元が設けられており、国を超えて助け合うことの大切さについて考えることができるように配慮されている。
⑤ 現代的な諸課 題への対応や 各教科等との 関連	・東日本大震災のドキュメンタリーや地域の防災に関する題材を扱う単元が設けられており、地域の一員として防災や安全について考えることができるように配慮されている。
⑥ 系統的・発展 的な内容等の 構成・配列	・1年のUnit1～4の「Enjoy Communication」では、小学校での既習事項を振り返ることができる活動が設定されており、中学校での学習を円滑に始められるように工夫されている。 ・「Let's Read」や「Stage Activity Plus」では、発達の段階に応じて語数が増やされるとともに、様々な種類の文章が設定されており、高等学校の学びへの円滑な接続ができるように配慮されている。
⑦ 生徒の発達の 段階に適した 本文の内容、 挿絵等の扱い、 印刷・製本	・各Unitには、見開きのページ右上に二次元コードが掲載されており、音声、動画コンテンツ、クイズ、関連資料にアクセスしやすいように配慮されている。 ・デジタル教科書の学習者ツールには、参考資料へのリンクを貼ることができる機能が設けられている。

教科	外国語	種目	英語	発行者	開隆堂
----	-----	----	----	-----	-----

観 点	特 徴 ・ 特 記 す べ き 事 項
① 知識や技能の 習得の工夫	・各Program冒頭の「Scenes」には、新出表現が漫画で示されており、その表現をどのような場面で使用するかを理解できるように配慮されている。 ・単元末には、文法事項のまとめである「英語早わかり」が配置されており、単元で学習した内容を整理することができるように配慮されている。
② 思考力・判断 力・表現力等 を育む工夫	・各学年の「Our Project」では、表やマッピングを使って自分の考えを整理し、それまでの学習で習得した知識や技能を活用して伝え合う活動が設定されており、表現力が育成されるように配慮されている。 ・2、3年の「Review & Retell」では、本文の内容を再現する活動が設定されており、イラストやキーワードを基に自分の言葉で伝えることができるように配慮されている。
③ 自主的、自発 的な学習を促 す工夫	・各Programに「できたかな?Goal」のチェック欄が設定されており、Programの扉に示された「Goal」について、自己評価することができるように配慮されている。 ・巻末に掲載されている「CAN-DO リスト」では、各学年の「できるようになったこと」を確認したり、5領域の技能を自己評価したりすることができるように配慮されている。
④ 伝統と文化を 尊重する態度、 道徳性などを 養う工夫	・アメリカのパジャマデイやアフリカの甲子園などを題材とした単元が設けられており、他国の文化を理解したり、国を超えて交流することの大切さを考えたりすることができるように配慮されている。
⑤ 現代的な諸課 題への対応や 各教科等との 関連	・目次やProgramの扉にSDGsマークが示されており、SDGsとの関わりを意識しながら単元の題材について学習できるように配慮されている。 ・自然界からヒントを得て開発されたものや、海洋ごみ問題を扱う単元では、自然や生命を尊び、環境を保全する態度が養われるように配慮されている。
⑥ 系統的・発展 的な内容等の 構成・配列	・1年の「Get Ready」1～6では、英語のすごろくやインタビュー活動などが設定されており、小学校で学んだことを振り返りながら、中学校への円滑な接続が図られている。
⑦ 生徒の発達の 段階に適した 本文の内容、 挿絵等の扱い、 印刷・製本	・音声、動画コンテンツ、単語学習アプリにアクセスできるように、各Programのページ右上に二次元コードが掲載されている。 ・デジタル教科書では、方眼紙や英語4線紙などデジタルノートの種類を切り替えることができ、生徒が選択して活用できるように配慮されている。

教科	外国語	種目	英語	発行者	三省堂
----	-----	----	----	-----	-----

観 点	特 徴 ・ 特 記 す べ き 事 項
① 知識や技能の 習得の工夫	- 各Lessonの「Part」では、4技能の活動が繰り返し設定されており、基礎的・基本的な知識や技能を習得できるように配慮されている。 - 各Lessonの「Small Talk」や「Small Talk Plus」では、身近な事柄についてやり取りすることで、会話を継続・発展させるコツを学ぶことができるように配慮されている。
② 思考力・判断 力・表現力等 を育む工夫	- 単元末の「Goal Activity」では、Lessonに関連したテーマについて、目的や場面、状況に応じて自分の考えや気持ちを表現したり、概要や要点を読み取ったりする活動が設定されており、思考力・判断力・表現力等が育成されるように配慮されている。 - 各学年の「Project」では、複数の領域を統合した活動が設定されており、目的や場面、状況に応じて、既習の言語材料を活用し表現できるように配慮されている。
③ 自主的、自発 的な学習を促 す工夫	- 各Lessonの扉には、単元末に行う「Goal Activity」が示されており、見通しをもって学習を進めることができるように配慮されている。 「For Self-study」では、教科書の使い方やリスニングのコツ、単語の覚え方など学習の参考となる情報が掲載されており、自主的に学習することができるように配慮されている。
④ 伝統と文化を 尊重する態度、 道徳性などを 養う工夫	インドの映画、日本の漫画、アニメーション、落語を題材とした単元が設けられており、自国や他国の文化への興味・関心が高まるように配慮されている。
⑤ 現代的な諸課 題への対応や 各教科等との 関連	非常食が担う役割を扱う単元が設けられており、防災についての意識を高めることができるように配慮されている。
⑥ 系統的・発展 的な内容等の 構成・配列	1年のLesson1～4では、小学校での既習表現を使って聞いたり話したりする活動や、音声で慣れ親しんだ英文を読んだり書いたりする活動が設定されており、中学校の学びへの円滑な接続が図られている。 「Reading Lesson」や「Further Reading」では、発達の段階に応じて様々な種類の文章を読む活動が設定されており、高等学校への学びに円滑に接続できるように配慮されている。
⑦ 生徒の発達の 段階に適した 本文の内容、 挿絵等の扱い、 印刷・製本	- 二次元コードが各Lessonの扉及び「Part」に掲載されており、音声や動画コンテンツ、英和辞典にアクセスしやすいように配慮されている。 - デジタル教科書の学習者ツールには、参考資料へのリンクを貼ることができる機能が設けられている。

教科	外国語	種目	英語	発行者	教出
----	-----	----	----	-----	----

観 点	特 徴 ・ 特 記 す べ き 事 項
① 知識や技能の 習得の工夫	・「Tips」では、大切な情報を聞き取ったり、文章を書いたりするコツなどを学ぶ活動が設定されており、コミュニケーション能力を育成することができるように配慮されている。 ・各学年の「Activities Plus」では、やり取りの活動が設定されており、やり取りを継続的に取り組むことで、Lessonで学んだ基礎的・基本的な知識や技能の定着が図られている。
② 思考力・判断 力・表現力等 を育む工夫	・各 Lesson 末の「Task」では、本文の内容を振り返りながら段階的に話したり書いたりする活動が設定されており、思考力・判断力・表現力等を育成することができるように配慮されている。 ・各学年の「Project」では、くま手チャートやクラゲチャート、Xチャートなどの思考ツールを用いて考えを整理する活動が設定されており、自分の考えや思いを表現できるように配慮されている。
③ 自主的、自発 的な学習を促 す工夫	・巻末の「Can-Do 自己チェックリスト」では、各学年の到達目標が掲載されており、学年末の振り返りだけでなく、3年間の学習の見通しをもつことができるように配慮されている。 ・「How to Study」、「辞書の使い方」、「効果的な英語学習法」では、学習を進める上でのアドバイスが掲載されており、自主的な学習が促されるように配慮されている。
④ 伝統と文化を 尊重する態度、 道徳性などを 養う工夫	・落語や和食のような日本の伝統文化を紹介する単元が設けられており、自国の文化に対する関心が高まるように配慮されている。
⑤ 現代的な諸課 題への対応や 各教科等との 関連	・ゴミ問題、エネルギー問題、自然保護、食品ロスを題材とした単元が設けられており、環境問題について考えることができるように配慮されている。
⑥ 系統的・発展 的な内容等の 構成・配列	・1年の「Springboard」1～6では、小学校で学習した表現や語彙を音声や文字で振り返る活動が設定されており、中学校での学びへの円滑な接続が図られている。 ・2、3年の「Review Lesson」では、前学年までに学習した文構造や文法事項を振り返る活動が設けられており、2、3年での学びの準備ができるように工夫されている。
⑦ 生徒の発達の 段階に適した 本文の内容、 挿絵等の扱い、 印刷・製本	・デジタル教科書では、録音・再生機能が設けられており、自分の声を録音し、モデル音声と比較しながら学習できるように配慮されている。 ・巻頭の「まなびリンク」のURLやLessonの二次元コードから、動画や音声を再生したり、ワークシートなどの教材をダウンロードしたりすることができる。

教科	外国語	種目	英語	発行者	光村
----	-----	----	----	-----	----

観 点	特 徴 ・ 特 記 す べ き 事 項
① 知識や技能の 習得の工夫	- 各Partの「Listen and Read」、「Listen」、「Speak」、「Write」では、インプットとアウトプットを繰り返す活動が設定されており、基礎的・基本的な知識や技能が習得できるように配慮されている。 - 各学年の綴じ込みの「Let's Talk」では、自分自身や身近な話題に関して、3年間継続的に話す活動が設定されており、語句や表現の定着が図られている。
② 思考力・判断 力・表現力等 を育む工夫	- 各Unit末の「Goal」と年間3回設定された「You Can Do It!」では、目的や場面、状況に応じて、学んだ表現を活用する活動が設定されており、思考力・判断力・表現力等を育成することができるよう配慮されている。 「Story Retelling」では、各Unitの内容をストーリーに沿った絵やキーワードを基に説明し合う活動が設定されており、自分の言葉で表現することができるよう配慮されている。
③ 自主的、自発 的な学習を促 す工夫	- 巻末の「CAN-DO List」では、Unitの「Goal ふりかえり」と関連しており、できるようになったことを自己評価することができるよう配慮されている。 - 巻末の「英語の学び方ガイド」では、領域別の学び方や家庭での学習方法が示されており、自主的な学習を促すように配慮されている。
④ 伝統と文化を 尊重する態度、 道徳性などを 養う工夫	「World Tour」では、音声や動画を通して様々な国の文化について学ぶことができる活動が設定されており、多様性を尊重する態度を養うことができるよう配慮されている。
⑤ 現代的な諸課 題への対応や 各教科等との 関連	防災を題材とした単元が設けられており、災害時に必要だと思うものについて伝え合う活動を通して、自分ごととして考えることができるよう配慮されている。
⑥ 系統的・発展 的な内容等の 構成・配列	1年の「Let's Be Friends!」1～8では、小学校での既習表現を用いた活動や、発音と綴りのルールを復習する活動が設定されており、中学校への学びの接続が図られている。 「Let's Read」と「Let's Read More」では、3年間を通して、発達の段階に応じた文章が設定されており、高等学校の学びへ円滑に接続できるように配慮されている。
⑦ 生徒の発達の 段階に適した 本文の内容、 挿絵等の扱い、 印刷・製本	- 各Unitには、見開きのページ右上に二次元コードが掲載されており、音声や映像などにアクセスできるように配慮されている。 - デジタル教科書には、録音・再生機能や10種類の思考ツールが示されたデジタルノートが設けられており、生徒が必要に応じて活用できるように配慮されている。

教科	外国語	種目	英語	発行者	啓林館
----	-----	----	----	-----	-----

観 点	特 徴 ・ 特 記 す べ き 事 項
① 知識や技能の 習得の工夫	- 各Unitを構成する「Listen」、「Speak」、「Write」では、目的や場面、状況に応じて、文法事項や語句、表現を繰り返し使う活動が設定されており、基礎的・基本的な知識や技能が習得できるように配慮されている。 - 各Partの「Enjoy Chatting」では、本文で扱われる題材について対話する活動が設定されており、即興でやり取りする力を育むことができるように配慮されている。
② 思考力・判断 力・表現力等 を育む工夫	- 各Unit末の「Think & Speak/Write」では、Unitに関連した題材について自分ごととして考えられる言語活動が設定されており、自己表現へと円滑につながるように配慮されている。 - 各学年の「Project」では、思考力・判断力・表現力等の育成に向け、聞いたり読んだりしたことを基に、自分の考えを整理しながら、表現する活動が設定されている。
③ 自主的、自発 的な学習を促 す工夫	- 各Unitの扉では、「Unit Goal」として「Input」と「Output」のそれぞれの目標が示されており、見通しをもって学習が進められるように配慮されている。 「英語の学び方」では、語句、音声、表現の観点から学習に役立つコツが掲載されており、自主的な学習が促されるように配慮されている。
④ 伝統と文化を 尊重する態度、 道徳性などを 養う工夫	日本や世界の祭りや食の多様性を紹介する単元では、外国文化との違いを知ると同時に、自国の伝統や文化を再認識し、尊重する態度を養うことができるように配慮されている。
⑤ 現代的な諸課 題への対応や 各教科等との 関連	海洋ごみ問題や動物の保護活動を題材にした単元が設けられており、環境問題に対する関心を高め、野生動物の命を大切にすることを養うことができるように配慮されている。
⑥ 系統的・発展 的な内容等の 構成・配列	1年の「Let's Start」1～3では、小学校での既習表現を用いた、聞くこと、話すこと、書くことの活動が設定されており、小学校で学んだことを振り返りながら、中学校の学習に円滑につながるように配慮されている。 - 各学年の「Let's Read」では、発達の段階に応じて語数が増やされるとともに、様々な種類の文章が設定されており、高等学校への学びにつなげることができるように配慮されている。
⑦ 生徒の発達の 段階に適した 本文の内容、 挿絵等の扱い、 印刷・製本	- デジタル教科書の「お道具箱」には、学習内容に関連したデジタルコンテンツがまとめられており、生徒がアクセスしやすいように配慮されている。 - デジタル教科書では、12種類のデジタルノートが設けられており、自分に合ったまとめ方ができるように配慮されている。